

平成30年度

市民と議会をつなぐ会

～市内16地区での意見交換会～

実施報告書（上巻）



平成30年8月20・21・28・29日・9月8日・10月5日開催

発行：平成30年11月 北上市議会

～はじめに～

北上市議会では例年、市民の皆様の御意見を広く伺い、議会の活動を知ってもらう目的から、「市民と議会をつなぐ会」として、議会からの活動等の報告及び市民の皆様との意見交換会を行っています。

今年度は、昨年度と同様に市内16地区で同会を実施しました。

会は大きく2部の構成で行いました。前半部では昨年度に議会から市当局に対して行った政策提言の概要とその後の状況を報告しました。後半部では、今年度、議会でも調査検討を行っている議員報酬と定数のあり方について、議会での検討状況を説明したうえで、参加者の皆様と意見交換を行いました。

この報告書（上巻）では、

- ・会の開催状況
- ・議員報酬と定数のあり方に関する検討状況の説明資料
- ・意見交換でいただいた意見及び質問等
- ・質問等に対する議会からの回答

を御報告します。

※報告書（下巻）では、

- ・参加者アンケートの集計結果
- ・アンケートでいただいた質問等に対する議会からの回答
- ・政策提言の内容とその後の状況についての説明資料
- ・参加者からの意見等（今後政策提言に取り上げてほしいテーマなど）の紹介
- ・意見等に対する議会からの回答

を御報告します。発行は平成31年1月末を予定しています。

目次

1.開催状況	1
2.これからの議員のあり方と議員報酬と定数について.....	2
(1) 議会での検討状況についての説明資料	3
(2) ふせんに書かれた意見の分類と集計結果.....	16
(3) 意見交換の結果（地区ごと）	17
(4) いただいた質問・疑問に対する議会からの回答	59

1. 開催状況

次の日程及び議員班編成で開催しました。

◆ 都合上、対応議員に一部変更のあった地区があります。

開催日（H30）	時間	会場（各交流センター）	担当班
8/20(月)	午後2時から	相 去	3班
	午後6時から	飯 豊	1班
		更 木	4班
		稲 瀬	2班
8/21(火)	午後6時から	二 子	2班
		口 内	3班
8/28(火)	午後2時から	黒沢尻東	1班
	午後6時から	鬼 柳	2班
	午後6時30分から	立 花	4班
8/29(水)	午後6時から	黒沢尻北	4班
		黒沢尻西	1班
		岩 崎	2班
9/8(土)	午後6時から	江 釣 子	3班
		和 賀	1班
10/5(金)	午後6時から	黒 岩	4班
		藤 根	3班

班	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会	
1班	阿部 眞希男	菊池 勝	梅木 忍	—
	高橋 孝二	安德 壽美子	高橋 初男	
2班	小原 享子	齊藤 律雄	小田島 徳幸	高橋 穂至（議長）
	佐藤 恵子	小原 敏道	八重樫 善勝	—
3班	昆野 将之	三宅 靖	熊谷 浩紀	—
	武田 勝	及川 誠	佐藤 重雄	
4班	平野 明紀	高橋 晃大	高橋 光博	—
	藤本 金樹	星 敦子	八重樫 七郎	
	鈴木 健二郎	—	—	

2. これからの議員のあり方と 議員報酬・定数について

(1) 議会での検討状況についての説明資料

地方議員のなり手不足が全国的な課題となっている中で、議会に求められる役割と責任を十分に果たすため、今年度、本市議会では議員報酬と定数のあり方を調査検討しています。

市民と議会をつなぐ会では、議会での検討状況を説明しました。次ページ以降には、この説明で配布した資料を掲載しております。

平成32年3月 市議会議員改選にむけて

これからの議員のあり方と 議員報酬・定数について考える

平成30年度 市民と議会をつなぐ会

議員報酬の検討について

検討の背景

- ① 議会機能の強化 → 議員の活動は増加 → 兼業が難しい状況に
- ② 地方議員のなり手不足が全国的な課題 (若年層の参加が少ない)

検討の目的・考え方

議会・議員の活動のあり方（全体像）を明らかにする。



平成8年度から変わっていない議員報酬(**351,000円**)を、活動量に見合った額にする。



2年後の改選期に議員を志す人が、
立候補できる環境を整える。

議員定数の検討について

検討の考え方

議員報酬の検討で、議会・議員の活動のあり方を明らかにする。



必要な議員の人数が明らかになる。

以前は、法律により定数が決められていたが、現在は報酬と同様に、各自治体が条例で定めている。

議会基本条例より

第13条 議員の定数及び報酬は（略）市民の意見を聴取して決定するものとする。

本日の意見交換のテーマ

次期改選を見据えて、年齢・性別・職業などが限られることなく、様々な人が議員を目指す環境として

自分が立候補、または身近な人に立候補してもらうには・・・

① 報酬はどうあればよいかな？

② 定数はどうあればよいかな？

③ その他にどのような条件・制度が必要かな？

今回の検討までの経過

平成21～22年の議員定数・報酬の検討

定数→30名から26名に

報酬→議会活動を充実させてから再検討

平成27年に青年団体、女性団体、PTA等とワークショップ

若い世代が議員にならない理由は…



議会・議員が何をしているのかわからない
選挙がある
生活の保障がない

地方分権時代の到来

地方分権一括法 平成12年(2000年)施行

○475本の法律を一括改正・・・国と地方の対等原則

○機関委任事務の廃止

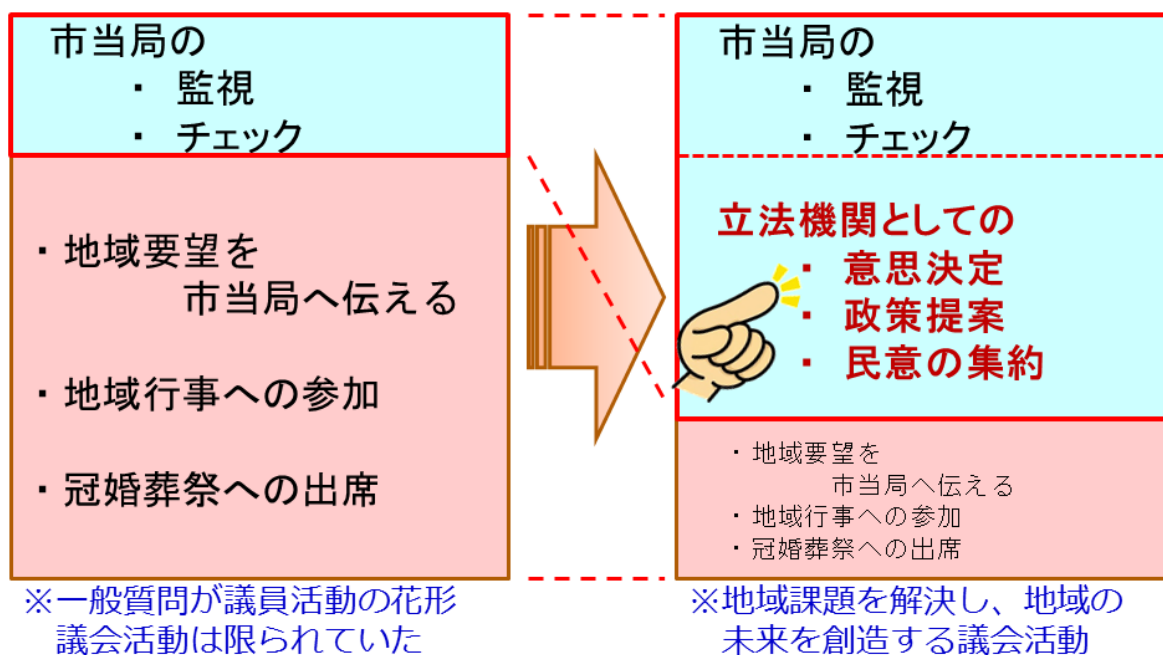


地方のことは
地方で決める
自治権の拡大



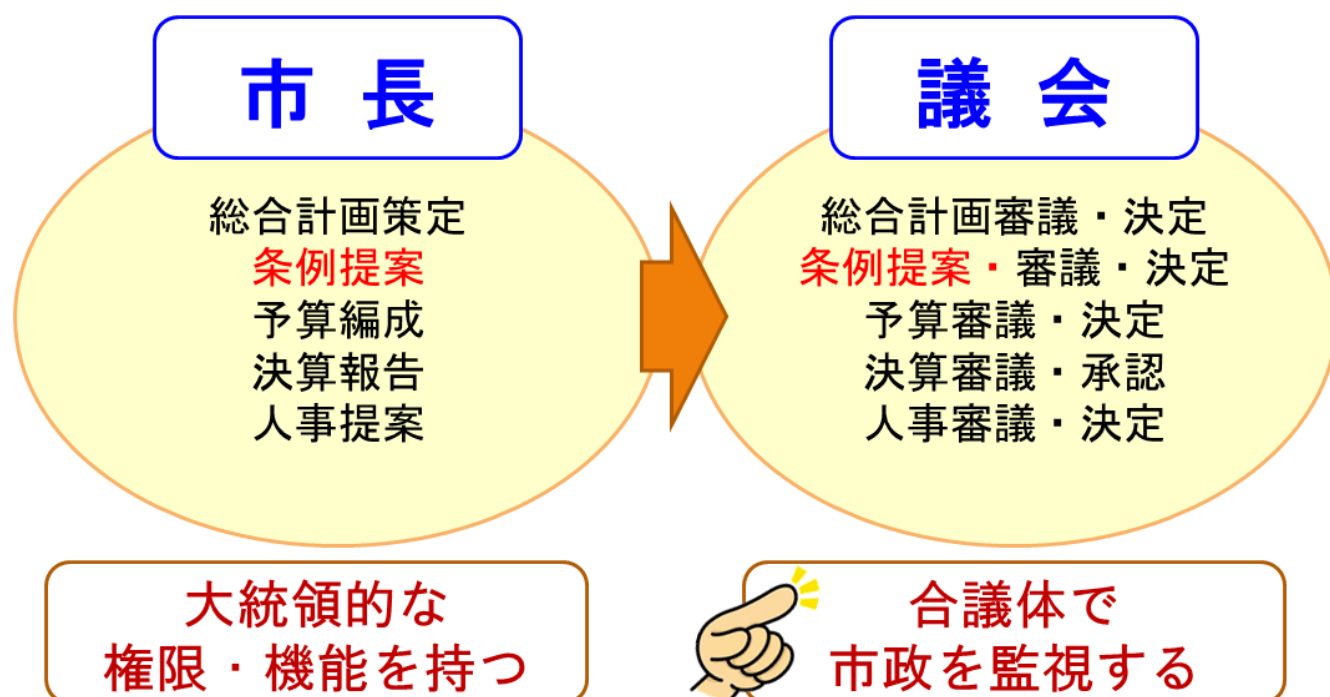
議決範囲の拡大と
議決責任の拡大

地方議会の役割は変化している



全国地方議会サミット2018(早稲田大学マニフェスト研究所)資料一部改編

議会と市長との関係 ～ 二代表制 ～



議会の機能と役割



北上市としての意思決定(議決)機関

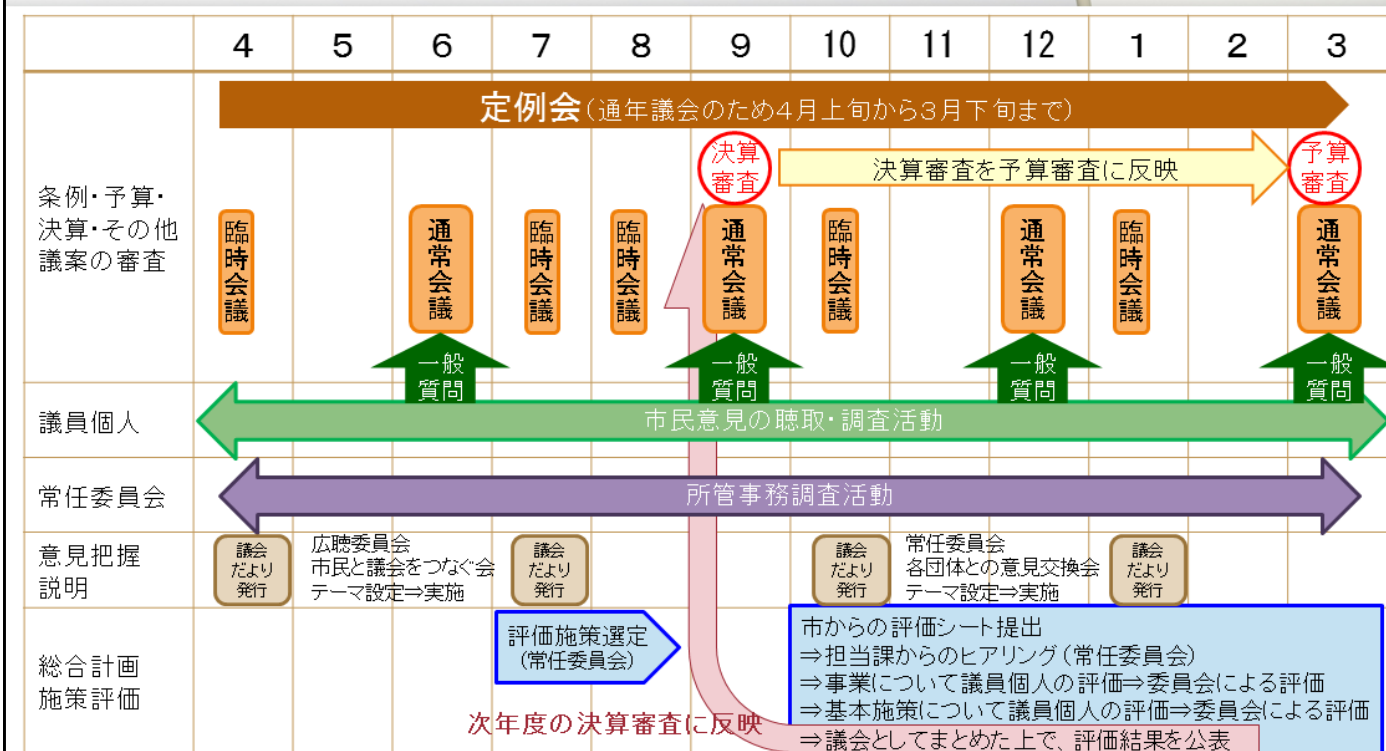
I 市政の監視

II 政策立案
政策提言

III 市民意見
聴取・把握

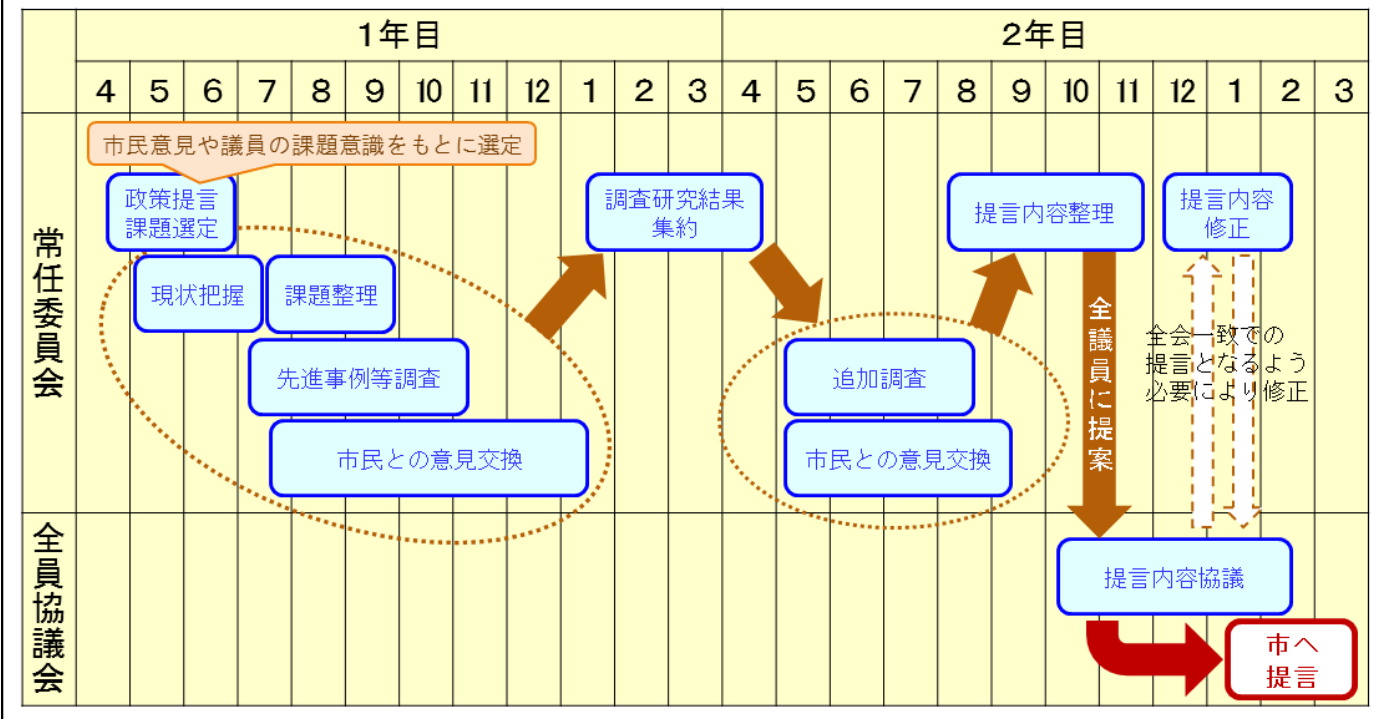
IV 説明責任

I 市政の監視 ～ 1 年間の流れ～



Ⅱ 政策提言

～常任委員会活動の流れ～



議会機能から見た 議会改革の主な取り組み

議会改革度調査2017ランキング

32位 / 1318議会

(早稲田大学マニフェスト研究所調査)

年度	I 市政の監視	II 政策立案	III 市民意見聴取	IV 説明責任
H14				議会ホームページ構築
H15	H16 改選 議員定数 32→30名	一般質問に一問一答方式を導入		
H22			市民と議会をつなぐ会の実施を開始	
〃				会議録への賛否者明記
H23	連合審査会の実施	請願・陳情者の意見聴取の実施		
〃	H24 改選 議員定数 30→26名	議会基本条例の制定		
H24			各団体と意見交換会実施	
H25				議員間討議の実施
H27			意見交換会にワークショップ形式を採用	
〃		政策提言(1件)の実施		
〃			広聴広報委員会を15名体制に強化	
H28	通年議会の開始			
H29		政策提言(4件)の実施	議会モニター制度導入	議員間討議の実施
H30	施策評価を试行			
H31	31年度には、次期総合計画の策定にむけた検討を開始することになります			

議員報酬を考える視点

①

活動量からの算出

②

他議会との比較

③

公務員との比較



北上市議会議員の 標準的な年間活動量モデル

A 「法律に定められている会議」

通常会議・臨時会議の本会議	100時間
常任委員会	121時間
議会運営委員会	58時間
特別委員会（決算・予算）	48時間

B 「市議会の規則（会議規則）に定めている会議」

議会全員協議会・市民と議会をつなぐ会	55時間
各派代表者会	28時間
議会改革推進会議	35時間
広聴委員会	62時間
広報委員会	65時間

北上市議会議員の 標準的な年間活動量モデル

C「A・B以外の議会活動」

市政調査会活動・・・・・・・・・・・・・・ 48時間
会派等活動（複数の議員による活動）・・・・ 170時間
市の行事への出席（一部：全議員が出席するもの）・・ 16時間

D「A・B・Cに付随する議員個人の活動」

調査活動、一般質問等準備、議案精読等・・・・ 426時間

E「議員個人の活動」

市の行事への出席、地域の行事への出席、
後援会活動、選挙活動、その他・・・・・・・・ 222時間

※ A～Dは年間活動モデル時間の積上により算出。Eは過去2回の活動調査の平均値から算出。

標準活動量から議員報酬を考える

① AからDの活動を議員報酬の対象となる活動と設定

② 各活動に構成議員の割合を乗じて平均時間を算出

	活動項目	積上時間数	構成議員割合	算出時間
A	本会議	100	100%	100
	常任委員会	121	96%	116
	議会運営委員会	58	38%	22
	特別委員会（決算・予算）	48	96%	46
B	議会全員協議会・市民と議会をつなぐ会	55	100%	55
	各派代表者会	28	27%	8
	議会改革推進会議	35	38%	13
	広聴委員会	62	27%	17
C	広報委員会	65	31%	20
	市政調査会	48	100%	48
	会派等活動（複数の議員による活動）	170	100%	170
	市の行事への出席（全議員が出席するもの）	16	100%	16
D	議員個人の活動（調査活動等）	426	100%	426
合 計				1,057

標準活動量から議員報酬を考える

全国町村議会議長会検討案方式を参考に試算

市長の給料月額 × 議員活動時間数モデル ÷ 市長職務遂行時間数



市長職務遂行時間数2,306時間と試算(※)し、これを基に議員報酬を算定。

$$877,000\text{円} \times 1,057\text{時間} \div 2,306\text{時間} = 401,990\text{円}$$

※試算

市長の職務遂行日数を仮に345日とし、平日247日＋土日祝98日と設定。

平日の活動時間を7時間45分、土日祝日の活動時間を4時間とする。

247日×7.75時間＋98日×4時間＝市長職務遂行時間数2,306時間

平成8年度の議会の活動量と比較

各活動項目ごとに平成8年度と平成32年度(改選後)の活動時間を比較

115
時間
の
増

常任委員会による政策提言や施策評価といった活動の増
(算出時間 76時間 → 116時間)

市民と議会をつなぐ会や広聴活動の充実による活動の増
(算出時間 35時間 → 55時間) など

議員1人当たりの活動量の増加率を

$$1057/942 = 1.12\text{倍と試算}$$

$$351,000\text{円} \times 1.12 = 393,120\text{円}$$

他議会と比較

(総務省統計 平成28年12月31日現在)

北上市の人口 305位／814団体
(報酬305位の団体の報酬額424,000円)
現在の報酬 559位／814団体
(351,000円)

①類似団体 (Ⅱ-I)

北上市を除く197団体の平均 389,273円
北上市は 152位／198団体

②東北

北上市を除く76団体の平均 390,113円
北上市は 50位／77団体

③財政力指数 (0.64～0.68)

北上市を除く52団体の平均 416,256円
北上市は 43位／53団体

④議員定数 (24～28名)

北上市を除く162団体の平均 428,577円
北上市は 141位／163団体

⑤人口密度 (193～233人/km²)

北上市を除く54団体の平均 360,173円
北上市は 32位／55団体

⑥通年議会・通年会期の議会

北上市を除く28団体の平均 474,389円
北上市は 22位／29団体

市の職員と比較

北上市における部長級・課長級職員の平均給料は算出していない
公表している職員の経験年数別・学歴別平均給料月額 (H29.4.1現在)

大学卒一般行政職 経験年数30年 403,689円

(30年…課長級のイメージ)

議会改革が進んでいる議会の中には、
行政の部長・課長と比較することが
適当だと検討した議会もあります。

議員定数検討の視点

条例・決算・予算・請願の審査、政策提言、施策評価等、
議会の活動の中心となっているのは**常任委員会**

常任委員会で十分に議論できる人数が必要
(少なくとも7～8名が妥当と言われている)

合議体としての
多様性の確保

常任委員会

定数22名の場合・・・

総務
7名

教育民生
7名

産業建設
7名

+ 議長

議選監査委員が常任委員会に出席する機会の確保が困難な場合
を想定すると、1つの常任委員会の委員数が6名に近い状態と
なる。(議選監査委員の活動量は年間およそ400時間)

23名は
必要

他議会と比較

(総務省統計 平成28年12月31日現在)

北上市の人口 305位／814団体
現在の定数 202位／814団体
(26名)

①類似団体 (Ⅱ-1)

北上市を除く197団体の平均 21.3名

北上市は 10位／198団体 (20団体が定数26名)

②東北

北上市を除く76団体の平均 23.9名

北上市は 21位／77団体 (11団体が定数26名)

③財政力指数 (0.64～0.68)

北上市を除く52団体の平均 21.7名

北上市は 8位／53団体 (4団体が定数26名)

④面積 (400～480km²)

北上市を除く40団体の平均 26.6名

北上市は 14位／41団体 (5団体が定数26名)

⑤議員定数22～26名の人口

定数26名の46団体の平均人口 (北上市を除く)
103,891人 <平均報酬404,862円>

定数24名の51団体の平均人口
99,557人 <平均報酬412,131円>

定数22名の94団体の平均人口
77,745人 <平均報酬393,763円>



議員報酬・議員定数の検討 ～現時点でのまとめ～

報 酬

標準的な活動量を基に、全国町村議長会検討案方式を参考に算出した40万円前後の報酬が妥当との意見が大勢を占めています。

現在の報酬となった平成8年度の活動量との比較、他議会との比較、市職員との比較のいずれの検討でも同程度の報酬が算出されることも根拠となっています。

また、生活給の視点で考えないと議員に立候補できる人が限られてしまうとの声も出されました。

その一方で、もっと検討を要するとの意見もあります。



議員報酬・議員定数の検討 ～現時点でのまとめ～

定 数

定数を減らすことにより選挙での当選ラインが上がり、新たに立候補しづらい環境となることが危惧され、多様性の確保のためにも、現状の26名を維持するべきとの意見があります。

その一方で、他議会と比較してやや多い定数と言えることから、現在の議会の機能や活動を落とすことなく定数を減らせる範囲として24名とするべきとの意見もあります。

※本会議での採決で可否同数となった場合には議長が決定しますが、議長の決定が頻繁に起こると議長の中立性が損なわれるため、定数は偶数が良いと言われています。

その他の条件 環境について

報酬も大切だろうが、報酬を改めるだけで、議員を目指しやすい環境になるのか？



全国市議会議長会では、厚生年金など社会保険制度導入を政府に要請しています。

(現在の状況)	市議会議員	市長	市職員
社会保険制度	×	○	○
退職金	×	○	○

新潟県上越市議会では、「市議を目指しやすい環境整備検討会」を設置し、各項目について検討しています。

- ① 市民と議会の距離を縮める（意見交換会の改革等）
- ② 選挙の困難さの解決（マニュアル作成等）
- ③ 物理的課題の解決（報酬適正化・社会保障の充実等）
- ④ 取り巻く環境の解決（人材育成等）
- ⑤ 女性特有の壁の打破（啓発活動等）



ワークショップのテーマ

次期改選を見据えて、年齢・性別・職業などが限られることなく、様々な人が議員を目指す環境として

自分が立候補、または身近な人に立候補してもらうには・・・

① 報酬はどうあればよいか？

議会では、活動量モデルを基本に、他市との比較などを考慮し、40万程度が妥当との意見が大勢を占めています。

② 定数はどうあればよいか？

議会では、議会の機能を考慮した24名と、定員を減らすことにより、立候補しにくくなることから、現状維持の26名という意見があります。

③ その他にどのような条件・制度が必要か？

例えば、厚生年金等の社会保険制度や議員体験のインターン制度、また、来年度から始まる選挙ビラ(マニフェスト)への支援等、考えられる条件は？

(2) ふせんに書かれた意見の分類と集計結果

意見交換でいただいた御意見を次の①～⑥に分類しました。

・報酬について

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

※一律の増額ではなく、若年層の議員への増額や経験年数による増額といった意見は③に分類しています。

・定数について

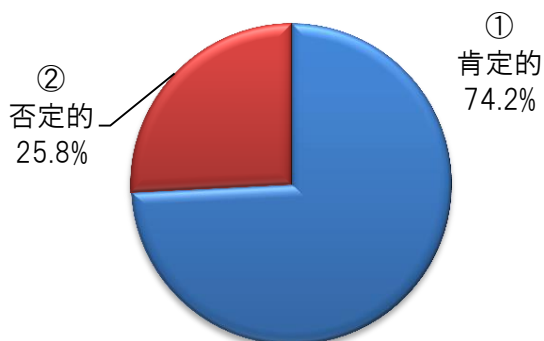
④ 定数減	24名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

いただいた御意見を地区ごとに、分類別に集計した結果は次のとおりです。

	参加人数	①	②	③	報酬に関する意見の総数	④	⑤	⑥	定数に関する意見の総数
黒沢尻北	24	19	0	21	40	10	13	4	27
黒沢尻東	19	9	5	11	25	12	5	2	19
黒沢尻西	32	13	9	17	39	9	15	3	27
立花	19	7	6	13	26	4	8	6	18
飯豊	26	14	2	3	19	9	8	0	17
二子	11	9	1	3	13	0	7	5	12
更木	27	14	4	11	29	4	16	8	28
黒岩	8	3	0	3	6	2	2	0	4
口内	11	5	3	7	15	4	5	3	12
稲瀬	5	2	5	1	8	0	1	2	3
相去	23	15	6	8	29	16	3	4	23
鬼柳	22	12	4	8	24	4	12	3	19
江釣子	4	2	1	6	9	0	3	2	5
和賀	15	7	2	7	16	5	7	3	15
岩崎	18	6	1	7	14	8	5	2	15
藤根	7	7	1	4	12	2	4	3	9
合計	271	144	50	130	324	89	114	50	253

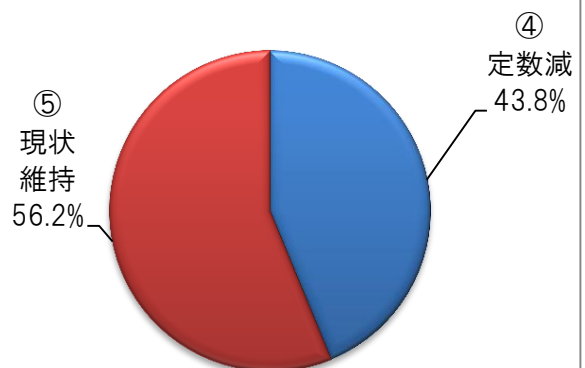
※意見分類①と②の意見数の比較

報酬について (40万円程度の提案に対して)



※意見分類④と⑤の意見数の比較

定数について (定数減か現状維持か)



(3) 意見交換の結果（地区ごと）

次ページからは意見交換でいただいた御意見の内容を地区ごとにご紹介します。

<凡例>

①黒沢尻北地区（4班）

テーマと
意見分類

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類ごとの意見数

分類	意見数	意 見
①	19	・報酬を上げないと議員のなり手がない。専業で生活が自立できる報酬とする。 ・活動量の多さから、市課長級に。平成8年から変化がないのは問題。 ・他市との比較で40万が妥当。 ・年齢が60歳以下であれば、50万円程度でないとできない。 ・他議会と比較して北上市は少し少なく思いますので、他市の平均にしても良い。 ・40万円プラス渉外費等々とする。 ・報酬は最低45万円くらいでも良い。 ・報酬は多いほど良いと思いますが、議員さんはどのくらいが理想なのか。 ・財政力指数に応じた41万円程が妥当。 ・議員報酬と政務活動費は分けて考えると、議員報酬は少ないと思う。 ・活動量の増加率1.12倍で393,120円が良い。 ・40万程度が妥当だと思う。 ・40万がいいと思います。生活があります。 ・まずは全国平均値（類似団体平均389,273円）で。
(5)		・報酬397,000円。（定数は23名）（①と④にカウント） ・議員報酬は上げるべき。40万円。ただし、定数を削減することが条件。（①と④にカウント） ・報酬を上げるのとセットで定数は23名。（①と④にカウント） ・議員削減なら報酬を上げる。（①と④にカウント） ・人口減少社会に対応するためには、定数削減して報酬を上げる。（①と④にカウント）
②	0	

() つきの数字は、他の
意見分類と重複してカ
ウントした意見数
(意見内容も重複して
紹介しています)

①黒沢尻北地区（4班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	19	・ 報酬を上げないと議員のなり手がない。専業で生活が自立できる報酬とする。 ・ 活動量の多さから、市課長級に。平成8年から変化がないのは問題。 ・ 他市との比較で40万が妥当。 ・ 年齢が60歳以下であれば、50万円程度でないとできない。 ・ 他議会と比較して北上市は少し少なく思いますので、他市の平均にしても良い。 ・ 40万円プラス渉外費等々とする。 ・ 報酬は最低45万円くらいでも良い。 ・ 報酬は多いほど良いと思いますが、議員さんはどのくらいが理想なのか。 ・ 財政力指数に応じた41万円程が妥当。 ・ 議員報酬と政務活動費は分けて考えると、議員報酬は少ないと思う。 ・ 活動量の増加率1.12倍で393,120円が良い。 ・ 40万程度が妥当だと思う。 ・ 40万が良いと思います。生活があります。 ・ まずは全国平均値（類似団体平均389,273円）で。
	(5)	・ 報酬397,000円。（定数は23名）（①と④にカウント） ・ 議員報酬は上げるべき。40万円。ただし、定数を削減することが条件。（①と④にカウント） ・ 報酬を上げるのとセットで定数は23名。（①と④にカウント） ・ 議員削減なら報酬を上げる。（①と④にカウント） ・ 人口減少社会に対応するためには、定数削減して報酬を上げる。（①と④にカウント）
②	0	



③	21	・報酬がどうあればいいかは、議員それぞれの立場があるので、一律に決めることは難しいと思う。専業・兼業様々あるので。 ・議員報酬は一律でなくてよい。年齢が60代で年金生活の人であれば、今の351,000円でも良いと思う。 ・他の収入の考えは？（兼業 etc）兼業議員、年金（国民・老齢等）等、他の収入も参考に設定すべき。 ・平均年齢が62.8歳とのことですが、年金との関係で、報酬支給が同一でいいのか。 ・70代など年金収入のある方は減額も（無理か？） ・報酬は活動量に見合った額とする。 ・報酬の説明がもう少し欲しかった。報酬は月ではなく年間でいくらか（ボーナスも含めて）？報酬以外の手当の種類は？金額は？ ・普通の会社に勤めている報酬にすべき。社会保険制度とか。 ・議員の交際費は別に支給されるのか。 ・議員の年数・経験で差をつけることができないか。 ・議員の賃金体系を作っては。会社の賃金体系と同じ感じ。若い人には厚く、年金受給者は薄く（年金もらっても議員活動した人がいるはず） ・市民の納得いく話し合いで決定する。 ・報酬は活動量が多くなっているなので、検討を進めてみて、市民の意見・考えを集約してみては。 ・報酬を上げるには、北上市の税収が増えるようであれば市民は納得なので、北上市の税収について詳しく市民に知らせてみては。 ・市の財政に合わせて決めていくべき。 ・北上市の平均賃金との関係を見ること。北上の水準が他より高ければ上げてもいい ・報酬だけでなく、政務活動費や他の手当を含めた全収入は？ ・「地域の行事への参加」は、報酬を考える上では不要では？ ・報酬が立候補の条件か？ ・活動量が今一つ具体的に多いとか少ないとかは分かりにくい。午前〇時～午後〇時とか。 ・公務員給と税収のバランス。そして庶民の生活等を加味した検討を願う。
---	----	--



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	10	・人口減少する中、定数は議会機能が維持できる人数ではどうか。 ・定数は減らす。24 名程度。 ・定数は全国平均で良いと思われる。 ・24 名。他議会との比較、人口と市財政力との観点から。 ・定数は削減すべき（23 名）
	(5)	・報酬 397,000 円。（定数は 23 名）(①と④にカウント) ・議員報酬は上げるべき。40 万円。ただし、定数を削減することが条件。(①と④にカウント) ・報酬を上げるのとセットで定数は 23 名。(①と④にカウント) ・議員削減なら報酬を上げる。(①と④にカウント) ・人口減少社会に対応するためには、定数削減して報酬を上げる。(①と④にカウント)
⑤	13	・定数は他市に比べて妥当と思う。26 名。 ・定数は多様性の確保から現状維持。 ・人口減少、高齢化（若い世代は働き盛り）に向け、人口の流れから見れば、現状で良い。 ・地区によって市民の声を届きづらく、現状の 26 名を維持すべきと思う。 ・定数は 26 名で良い。 ・現状維持の 26 名が望ましい。 ・ある程度地域性も考慮した定数にすべき。（現状維持） ・北上市はこれからますます発展し人口増加が考えられるので、現状維持でいって数年ごとに意見を聞く。 ・効率的な活動で、定員維持を。 ・人口は全国的に減っている中で多くするのはどうか。せめて現状維持で良いのでは。 ・人口に合わせた方がいい。25 人か 26 人か。 ・理想としては定数にこだわりたくないが、現実には現状で。（現実的には地域人口も影響する。） ・定数を減らせば良いとは思わない。
⑥	4	・審議すべき業務量に見合った人数を確保する。 ・定数の決め方が不明のため、明確にした方が良いのでは。 ・県内他市と人口で比べてみてはどうか。 ・24～26 名でいいと思う。

その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・厚生年金への移行をするべき。
- ・社会保険は必要。（厚生年金的）
- ・厚生年金は必要です。
- ・厚生年金等の社会保険制度は支援できる。
- ・年金は必要ですね。生活できるような。
- ・厚生年金制度があった方が良いと思われる。
- ・社会保険制度（年金・健康保険等）などの新たな加入を進めて、身分の安定を考えてみては。
- ・厚生年金は個人的には理解できる。（市民と比べて同程度の負担で）
- ・若い人は生活保障を確保（保険、退職金など）

＜選挙・議員の選び方＞

- ・立候補しやすい支援、選挙費用の支援。
- ・中選挙区くらいに市内を分けて議員数を決める。
- ・まず、ある程度議員の年齢・性別・職業も、広くでいいから制約してはどうか。制度改正は必要。
- ・地区ごとに定数を定め、地区民の推薦により議員を決める。立候補者自身の意思では決めない。選挙制度の廃止。
- ・男女・年齢のバランス。

＜政務活動費＞

- ・過般テレビ等で問題が取り上げられたが、活動費はどの位か個人差があるのか？残額は返納するのか？

＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞

- ・区長会の中から数人を選抜して議会に参加させてみては？

＜その他＞

- ・若年議員では子育て等の費用は市で補助しては？
- ・年齢の若い人は仕事があり両立するのは難しいと思われる。若い者が魅力ある議員像は難しいと思われる。
- ・議員になるには地域とつながりがなければ立候補しにくい。30～40代は会社が主で無理がある。
- ・小中高校生に議員体験してもらい、理解させ、意識を高める。



②黒沢尻東地区（1班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	9	・今回の説明については背景資料があって良い。よって、まとめの方向を支持したい。 ・現在の報酬は少ないと思う。 ・若い人を出すため上げるべき。 ・活動時間等から、報酬は上げた方が良い。 ・報酬は少ない。 ・報酬は 40 万円以上。
	(3)	・定数を 20 名ほどに減らして、その分報酬、退職金、その他をプラスする。(①と④にカウント) ・定数を減らして報酬を上げる。(①と④にカウント) ・定数を減らして、報酬増を。(①と④にカウント)
②	5	・妥当な金額は 40 万を押し付けている。 ・報酬は現状とする。 ・報酬定数は現状で良い。(②と⑤にカウント) ・現状で良い。 ・報酬が安いと思ったら立候補しない方が良い。
③	11	・基準を整理した方がいい。(条例に入れられるものか?) ・報酬は物価を考えるべき。 ・他の市との財政の比較は? ・平成 8 年からの経緯を知りたい。 ・報酬は当選回数による比例制。1 回は市職員の係長級、2 回～4 回は課長級、5 回以上は部長級から副市長の間で漸増。 ・総収入に応じて個別の報酬。 ・報酬は財政力指数による。 ・1057 時間 ÷ 8 時間 ÷ 132 日 = 報酬。 ・報酬を上げることにより、予算上はどうなるのか。 ・性質上やむをえないかもしれないが、平均値しか示せないのでしょうか。がんばっている議員さんが何かで報われないのでしょうか。 ・常任委員長への特別手当の支給。

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	12	・ 26 人は多い。妥当な数は 24。 ・ 報酬を上げるのであれば定数を減らしてほしい。 ・ 議員定数を減らす。 ・ 人口に比例した定数にする。(22 人の根拠) ・ 定数 24 名。 ・ 定数 24 名で良い。 ・ 定数 24 名。 ・ 定数は財政力指数による。(平均 21.7 名) ・ 定数 24 名プラス、無報酬のボランティア枠 2 名。
	(3)	・ 定数を 20 名ほどに減らして、その分報酬、退職金、その他をプラスする。(①と④にカウント) ・ 定数を減らして報酬を上げる。(①と④にカウント) ・ 定数を減らして、報酬増を。(①と④にカウント)
⑤	5	・ 報酬定数は現状で良い。(②と⑤にカウント) ・ 定数は現状で良い。過多・過少の決定打がない。(経費削減の話ではない) ・ 現状で。 ・ 現状で良い。 ・ 人口 3500 人あたり 1 名として、端数を切り上げた人数 $93200/3500=26.6 \rightarrow 27$ 名。
⑥	2	・ 定数は考えられません。 ・ 人口に比べて議員の数が偏っている。



その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・厚生年金制度は議員は不要。（別途考える方が良い。今回は不要。）
- ・社会保険制度に加入する。
- ・社会保険制度を導入するとしたら国民年金とする。
- ・国会で決まりましたら退職金・議員年金を検討する。
- ・社会保険（厚生年金）の市の負担分は予算どうなりますか。
- ・個人経営者的な対応。

＜選挙・議員の選び方＞

- ・地区ごとに人数の区割。地区代表制とすべき。
- ・選挙を公営化し、資産がなくても議員になれるようにする。
- ・女性議員を多く。

＜政務活動費＞

- ・政務活動費を増額し、もっと地域内問題を把握してほしい。

＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞

- ・議員さんが何をされているのか今日わかりました。市民にもっとアピールしてほしい。
- ・議員の顔が見えず。
- ・コミュニティFMの放送 15 分枠≒ 6 万円とのこと。毎週 1 回 4 会派順繰りで情報や活動を発表する。
- ・定期番組を作るべき。
- ・議員の活動状況が分からない。見えない。
- ・活動をわかりやすく（地域の人対策）。
- ・報酬・定数とも他との比較論でしか判断できない。
- ・議員の活動量を市民が判断できる環境整備が必要だ。

＜議員の評価＞

- ・議員の評価制度の検討。

＜その他＞

- ・議員の考え方は一般質問でしか分からない。質問回数に議員のばらつきがある。
- ・議員は、自治・マネジメント・会計・財務のわかる方がでほしい。
- ・16 地区の活動参加を義務づける。
- ・地域活動に積極参加を。
- ・家庭人としての労力。



③黒沢尻西地区（1班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	13	・議会改革度から見たら、県内1位・東北2位。報酬が北上市は低い…。 ・年間報酬600万円レベルが良いと思う ・個人的には職業（プロ）として市議会議員とするならば、試算よりもっと高収入でも良いと考える。ただし、個人の資質や能力、何よりも議員としてそれ相応の働き方を求める。年間労働時間2300時間。 ・報酬は平均的な40万前後。 ・報酬は平成8年から変わっていないが、議員としての活動内容は大いに変わっているの、上げて良いと思う（40万）。役職手当は？ ・報酬については、他地域と比較し、40万円程度が良いと思われる。 ・国からおりてくる仕事が多く、地方での仕事量が多くなった。報酬を上げる条件となる。 ・報酬は上げる必要は認められる。案の比較対象は民間との比較がないので。 ・40万程度必要 ・各種調査をもとにした議会の算出額が妥当だと思う。 ・40万円程度が良い。 ・議員報酬は、現状に社会保険の額を加算した額ではどうか。
	(1)	・定数は報酬の増額を前提として削減（24名に）する（①と④にカウント）
②	9	・議員を目指した理由は、報酬目的ではないのではないか。 ・議員報酬は、市の財政を考えて351,000円で良いのでは。 ・議員報酬は現状でおおむね適当 ・議員報酬が40万円前後では一般的に考えた場合高いと思います。現状で良い。 ・ボランティアでやる人はいないのか（外国の例） ・議員はサラリーマンでしょうか。 ・報酬という意味を忘れてませんか。 ・ボランティア活動としての活動費くらいにしてほしい。 ・報酬は据え置き。活動費について検討する。



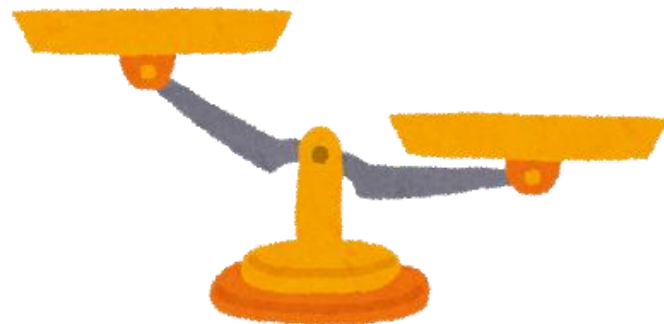
③	17	・報酬だけの問題ではない。(活動量に合わせた活動に) ・個々人の活動量が分からない。内容により支給あるべきと思う。 ・報酬について市職員との比較はあるが、民間人との比較は？ ・市民の平均賃金は参考にならないか。 ・議員経験年数で報酬を決める。 ・議員経験年数による報酬。(長い議員は高い) ・議員にも年数(当選回数)により報酬の受給があつて良いのでは。(議員年数による) ・報酬に階段が必要では。(例：1年生と6年生が同額は理解しにくい) ・全員同一の報酬は不要。活動テーマで必要経費を設ける。 ・報酬は、最低報酬を決めておき、さらに活躍した方に対して、ボーナス的なプラスαを付与しても良いのではないかと考えます。 ・報酬は当選回数や役職に応じて差をつけるべき。 ・役職手当、委員長手当を。 ・報酬は財政との兼ね合い。 ・定数を減らしても報酬を上げると総額が増えるが、可能な範囲か？ ・税金が増加しない報酬にするべき。 ・国民年金生活、賞味期限やリサイクル商品で日頃利用している者には、夏のボーナス40万？うらやましかった。 ・生活給ですか。
---	----	---



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	9	・ 定数は 24 名が良いのでは。 ・ 調査の結果から 24 名が妥当。 ・ 定数を減らす。(20～22 名) ・ 定数は削減して少数精鋭にした方が良い。意見の多様性からの視点を強調するのは逃げではないか。各地域から 1 名の視点があるのではないか。 ・ 報酬を高くする場合、議員定数を減らせば良いが、仕事は増加する。仕事を減らせば良い。 ・ 人口減を考慮し、定員を減らすべき。 ・ 定数は最小限の人数を確保する必要がある。(24 名) ・ 定数を減らし、調査項目ごとにアルバイトを有料で採用する。
	(1)	・ 定数は報酬の増額を前提として削減 (24 名に) する。(①と④にカウント)
⑤	15	・ 定数は OK。 ・ 26 名で良い。 ・ 定数は現状維持で良い。 ・ 議員定数、現状維持が良い。 ・ 定数は現状で可。 ・ 定数は現状維持 26 名。 ・ 現状のまま。 ・ 定数は現状で良い。 ・ おおむね適当。 ・ 定数は多い方が良い。 ・ 仕事量が多くなっている。定数減は無理。 ・ 定数については現状通りで可。 ・ 定数は現状で。 ・ 定数を減らすことには反対。 ・ 定数は、まずは 26 名から始めてみて、市の財政との比較をしてみてから改めて減らすなどの対策をとってみてはどうか。
⑥	3	・ 定数は 25 名。 ・ 難しいことであるが、地域のバランスを考慮できないか。 ・ 議員に地域の偏りを感じる。



その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・社会保険制度は実施した方が良いと思う。
- ・社会保険制度（年金）は欲しいのでは。
- ・厚生年金を払い終わってからでないと、若い人は心配で立候補できない。
- ・社会保険制度は必要。
- ・年金・保険等の社会保障の改善は、国会・県議会議員等と比較して提案してみてもは。
- ・報酬を上げられなければ、ボーナスを上げる、社会保険制度、退職金、手当を提案する。
- ・厚生年金の導入を検討されてよい。勤続年数は当然考慮する。
- ・厚生年金等の社会制度は必要である。
- ・議員年金はあつてしかるべき。
- ・年金の復活。
- ・議員年金は財政的に破綻している。
- ・退職金について、全国的に見て検討。

＜選挙・議員の選び方＞

- ・選挙制度を簡略化する。選挙にお金をかけない。
- ・選挙ポスターは必要か。不用。公報だけで良い。
- ・選挙で市内を回る必要ない。選挙カーも不要。
- ・選挙の仕組みを改革できないか。（選挙活動など。誰でも立候補できるような）
- ・名もない人も立候補できる条件づくり。（地域の役員やPTA会長など何かやっているような方しか立候補できないように見える。）
- ・選挙費用の削減（制度）。
- ・若い人の参加がないので、子育ての声が届かない。（若い人が立候補できるように）
- ・定数に女性枠と40代以下の枠を設ける。
- ・女性議員の枠を設けては。
- ・女性議員を増やす工夫が必要。
- ・定年制度あった方が。

＜政務活動費＞

- ・政務活動費2万円は安い。3万円程度。
- ・活動費が思いのほか低いのね。参考になった。

＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞

- ・様々な声を届けるためには、様々な立場の方が市政に関わる必要があるかと思います。障害のある方も参加できるようなシステムで議会に参加できればいいのかも。
- ・市民と議会をつなぐ会を続けてほしい。
- ・若い人の声をどう聞くの？

＜その他＞

- ・家族構成を考慮する。
- ・市財政の余裕もあるが、優秀な人を集める必要あり。（事業立ち上げ、IT技術）

④立花地区（4班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	7	・一定の生活保障と活動意欲がもてる報酬を考えるべき。 ・カンバン・カバンがなくても議員できる報酬を。 ・生活給を保障する。 ・職業として活動していくのは妥当だと思う。40万。 ・報酬は40万円くらいでもいいと思う。（8年から同じだ） ・報酬は市職員と同額で良いと思う。（部課長くらい）
	(1)	・定数は20人程度でもいいのではないかと。その分を報酬へ回す（定数を減らした分を報酬増に）。(①と④にカウント)
②	6	・日本の市議会制度の疲労→アメリカ型のボランティア ・現状のままで。 ・公務員と比較した金額があげられていますが、1日8時間労働をしている人とは別だと思います。 ・報酬について全国と比較しているが、県内の同規模の一関、花巻、奥州と比較していいレベルである。要検討。 ・活動量は1057時間と増えているが、1日7時間とすれば、151日の勤務に相当する。市の課長と比較するのは無理がある。 ・市長との比較が示されたが、業務内容から比較の対象とはならないのでは。
③	13	・職業としての報酬？奉仕者（ボランティア）か？ ・議員のなり手が無いのは制度の問題。報酬にすりかえていない？ ・年金収入減の中、他のことについて考える余地が無い。 ・議員報酬を検討する前に議員に立候補しようとする環境づくりが必要と思う。 ・報酬を上げて市財政が圧迫されないか？ ・日当制等も考えられないか。 ・現報酬を基本給として、当選回数（経験）に応じて昇給する制度にしてはどうか。 ・議員は1つの職業と考えるのか、全体の奉仕者でボランティアと考えるのか。それによって報酬の金額が異なると思います。 ・地域の勤労者の平均額にする。 ・報酬の増は若い議員を対象に。 ・報酬を考えるには、こういった年代の人に議員になってもらいたいかによる。 ・議員職の内容が不明なので、仕事を明確化。その金額に合っているかどうか。 ・議員よりセンター職員の処遇改善を。

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	4	・ 減少の方向へ。オンブズマン委員会機能強化。 ・ 減らして、質（人材）その受け入れ態勢を改めていくか。 ・ 委員会構成が成り立つ最小限の定数。
	(1)	・ 定数は 20 人程度でもいいのではないかな。その分を報酬へ回す（定数を減らした分を報酬増に）。(①と④にカウント)
⑤	8	・ 現状の 26 名で問題がなければ現状で良い。 ・ 過疎地を配慮すれば現状は妥当な数字かな。 ・ 現状のままで。 ・ 住民の意見を反映するには、定数はあまり減らすべきでない。 ・ 地域住民の声を市政に反映するために現状の議席数を。 ・ 定数はちょうど良いと思う。 ・ 定数は今のままで良いのではないかな。26 名。 ・ これ以上減らすと、地域の議員がいなくなる。
⑥	6	・ 他地区に合わせる。減らせば報酬アップ。増やせない。 ・ 増減による仕事への影響が分からないので答えられない。 ・ 定数は、ぜひこのくらいの人数が必要と思う人数を考えた方が良いと思う。 ・ 市の人口割合により定数を定めてはどうか（変動制）。 ・ 地域の議員という考えがあるが、議員は市全体を考えるべき。 ・ 「地域」の代表ではいけない。市全体を考えるように望む。



その他にどのような条件・制度が必要か

<社会保険・年金・退職金>

- ・厚生年金、社会保険とも制度に加入すべきです。
- ・厚生年金をかけるべき。(議員のみで、他の職に就いていない人)
- ・一定の期間働いた議員には年金が必要。
- ・年金を含む。

<選挙・議員の選び方>

- ・組織票がない候補は当選無理。どうする？
- ・選挙の費用を考えると、選挙制度を変えていくべき。(金のかからない、誰もが立候補できる)
- ・選挙と生涯保障に不安(制度)。
- ・定年制を設立。若い人、意欲のある人がやれるように。
- ・女性議員の数を一定割合まで。

<広聴広報の強化・情報公開・市民参加>

- ・議員の活動が見えないと報酬アップにつながらないと思う。もっと身近に知りたい。
- ・市民との話し合いを多くする。(色々な年代の人達と)
- ・議員と市民との意見交換の時間が少ない
- ・重要事項について、市民参加委員会。
- ・市民が無関心。関心を持たせることが必要。

<議員の評価>

- ・議員評価のしくみ、議員同士の政策討論会。
- ・議員を評価できる仕組みが必要。(活動のチェック)

<その他>

- ・「働き方改革」を議会で考え、改めていく。
- ・兼業は廃止するべき(専念義務)。
- ・その他もろもろ地域へのお祝い等の廃止。
- ・議員の慶弔・年賀状は出さない方が良いと思う。(金がかかる)
- ・世のため人のためになる制度。
- ・人間として扱ってもらえる制度。



⑤飯豊地区（1班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	14	・ 報酬を上げて良いと思う。 ・ 40 万円くらいの報酬は良いと思う。 ・ 報酬は 40 万円程度で良いのでは。 ・ 報酬は現在の倍額以上。 ・ 議員活動に専任し生活できるためには報酬アップは必要である。 ・ 政務活動費含み 40 万円の月給。 ・ 生活給の確保として 40 万円以上でなければ議員のなり手がなくなると思う。 ・ 議員は報酬だけでは生活できない。 ・ 議員報酬は上げて良い ・ 報酬は 40 万円程度が妥当とは思いますが、それによって議員を目指す人が増えるとは思えない。 ・ 報酬は上げて良い。 ・ 部長、課長を基準、その他調査しているようだが、40 万との数字が出ているようだが、40～50 万では。
	(2)	・ 報酬を上げるのは良いが、定数は少なくして良い。22～24 名。(①と④にカウント) ・ 定数を減らした分、給料を高くした方が良いのでは。(①と④にカウント)
②	2	・ 報酬について現状では安いですか？ ・ 北上市の平均年収ぐらい。(ネットでは 275 万円)
③	4	・ 出張、旅費等はどのようになっているか？ ・ 報酬は、人口減少の中、固定費率で検討すべし。 ・ 報酬アップするには、それなりに仕事すること。



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	9	・ 定数は 26 名から 24 名にして良いのでは。(他議会との比較による) ・ 定数は各地区 1 人の合計 16 人。 ・ 定数は 24 名で良い ・ 24 名で良い ・ 定数は 24 名で良い ・ 定数は減らすべき。 ・ 議員定数 24 人。
	(2)	・ 報酬を上げるのは良いが、定数は少なくして良い。22～24 名。(①と④にカウント) ・ 定数を減らした分、給料を高くした方が良いのでは。(①と④にカウント)
⑤	8	・ 定数は今のままで良いのでは ・ 議員定数は無理して減らさなくて良い。他のことで無駄をなくすべき。 ・ 定数は現状 26 名で良い。 ・ 地区から 1～2 名で合計 26 名とする ・ 定数について現状でいいと思います。 ・ 定数は多い方が良い。 ・ 定数については、北上市の地域性などから 26 名程度が適当だと思います。 ・ 現状で良いのでは。
⑥	0	



その他にどのような条件・制度が必要か

<社会保険・年金・退職金>

- ・社会保険制度はつけた方が良い。
- ・厚生年金、議員年金は必要である。
- ・最低、健康保険制度は保障する。
- ・退職金制度がないため、保証制度を入れる。
- ・厚生年金制度は必要。議員のなり手が少なくなる。
- ・報酬＋年金、退職金も必要では。

<選挙・議員の選び方>

- ・選挙費用は市から支給とか、個人負担を小さくする。
- ・選挙に金がかかる。
- ・選挙費用を下げることを考えるべき。
- ・議員選挙の改善を。
- ・投票率が低い。
- ・投票率の向上が大きな課題では。
- ・30 歳になったら何か特典をつけて立候補しやすい環境をつくる。(世界 1 周旅行など)
- ・立候補年齢を 20 歳以上とする。
- ・選挙をしないで議員を選ぶ制度が欲しい。
- ・定年を決める (65 歳までとか)。

<政務活動費>

- ・政務活動費が少ないのでは。かかる分は支給が必要。
- ・報酬の全体が見えない部分があり、政務活動費の出入の状況について使用度等の説明を。
- ・政務活動費の使われ方が分からない。
- ・政務活動費の増額も良い。

<広聴広報の強化・情報公開・市民参加>

- ・応援している議員の活動内容はわかるが、他の議員の活動が不明。明らかにするしくみ。
- ・若い人達に政治に関心をもってもらうための努力が足りない。
- ・若人の関心がない。
- ・議会を多数の市民が傍聴できる仕組みを作る (参加者が少ない)

<議員の評価>

- ・議員を評価するしくみ (第 3 者にて)。

<その他>

- ・仕事量が増えているというが、議員さんによって真面目度によるのでは？
- ・専業でなければ議員ができないとなると、ますます立候補がなくなると思う。
- ・学歴等、経験ない人でもできるようにしてほしい。
- ・介護、子育てをしながらでも働けるようにしてほしい。
- ・休日はほしい。
- ・4 年契約は短い。
- ・議員は地域の実態を勉強してほしい。
- ・残業代はある？ないならつけるべき。
- ・自分の目標に対して成果を上げたら報酬に反映する。
- ・外国 (ヨーロッパ) の市町村議員制度はどうなっているのか。参考にできれば。
- ・議員に各会合などで出費を求めないよう制度を定める。
- ・議会の改革パソコン利用で改善をすべし。

⑥二子地区（2班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	9	・議会力向上、議員の質の向上には報酬の改善が必要と思います。 ・各議員の活動量に格差があると思うが、40万円程度の試算はいいのではないかな。 ・議員報酬は、生活できる企業の中間管理職程度（年収650～700万円）。 ・仕事内容も金額も良く見えないが、他地区とせめて平均位置で。 ・若い人が議員にと考える場合は、やはり報酬が多い方がいいと思います。 ・他地区並みに。 ・専業で議員ができるように。 ・活動に見合った報酬もあり。 ・活動量に見合った報酬にしてほしい。
②	1	・自治体職員は兼業禁止され生活給となっており、議員は禁止されていない。報酬が少ないわけではない。
③	3	・一般質問をしていない議員は、市民の声が届いていないと感じるので、報酬は活動量に応じて。 ・現在の議員さんはどう思っていますか。もっとほしい？ ・財政規模での比較がなかったが、その面での順位は？

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	0	
⑤	7	・定数は予算によっても変わると思うが、多い方がいいと思う。現状維持。 ・定数は26程度で良い。おおむね財政規模による。 ・広く民意を聴くとの視点から、多い方が望ましいが、財政的な面もあり、現状維持では。 ・26定数のままでよい。 ・定数については26名・ ・同じ ・定数は現状で良い
⑥	5	・定数は多い方が良いが、財政的な問題があるので、他市町村を考慮すべきだと思います。 ・経済が変動し過ぎる。〇名～〇名として、その都度変わっても良いのでは。 ・各地区から出してほしい。 ・定数が減ったら地域に議員がいなくなったらどうなるの？ ・本日の説明で納得する。

その他にどのような条件・制度が必要か

<社会保険・年金・退職金>

- ・議員年金については両論ありますが、廃止した理由も再検討すべき。
- ・65歳未満は厚生年金の導入を考えたら。退職金も1期150万円。
- ・社保、雇用保険をかけられるように。
- ・社会保険を導入してほしい。
- ・社会保険制度、厚生年金の導入。
- ・議員年金を数年前にやめた理由が分からない。(市民に説明してから検討すべき。)市民の理解が得られたか?説明が難しいのでは?

<選挙・議員の選び方>

- ・選挙資金がなくても立候補できるように。
- ・選挙にお金がかかる。
- ・小選挙区にして区長職との検討。

<広聴広報の強化・情報公開・市民参加>

- ・若い人が政治に関心を持てるような制度(国も含む)が必要。
- ・議会で話し合った内容をわかりやすく書いてほしい。

<議員の評価>

- ・議員間の活動内容のチェックも必要ではないか。格差を埋めていく必要がある。

<その他>

- ・若手議員の資質向上は必要。インターン制度賛成。研修期間の大幅保障(時間、報酬等)。
- ・若手議員の発掘は、やはり先輩議員の力でしょうか。
- ・学歴等問わずできるように。
- ・子育て議員が増えてほしい(＋介護)。
- ・子育て介護しながらでもできるようにしてほしい。
- ・休日は確実にほしい。
- ・議員は特別職。小使いさん。ある程度はえらい人。
- ・奉仕する意思がないと難しい。



⑦更木地区（4班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	14	・ 40 万／月。 ・ 活動量からすれば 40 万円は妥当かも。 ・ 40 万円。 ・ 今の世の中 1 カ月 351,000 円では家族を養えないと思うのであげるべきだ。 ・ 報酬は東北の平均を参考に。 ・ 報酬は上げた方が良い。 ・ 報酬は上げてても良い。 ・ 年収として 700～800 万。 ・ 40 万円にアップ。 ・ 報酬上げる。(40 万?) ・ 農家にとって 40 万は多く感じられますが、将来を考えると妥当かと思います。 ・ 増はやむをえない。 ・ 生活できる金額 40 万は必要。 ・ 議員として費用もかかるので 40 万円位で良いのではないかな。
②	4	・ 希望の 40 万円は自分の報酬と比較すると?である。 ・ 海外では議員はボランティア感覚だと聞いた。 ・ 1 日 4 時間の活動だとすれば現在の報酬が安いとはいえない。 ・ 活動への対価時間で考えると高い。
③	11	・ 40 万円が高い、低いのは他の収入の有無による。 ・ 議員のそれぞれに活動格差があるように思われる。 ・ 報酬は活動量に応じて支払いすべきと考えます。 ・ 活動量に見合った金額を年度ごとに支給する。 ・ キャリア等 議員個人の評価制度にして差をつける。 ・ 報酬は生活できる金額であれば良い。 ・ 当選回数によりベースアップを。 ・ 報酬の何に一番費用がかかるのか? ・ 県内の状況はどうか。 ・ 報酬増で議員になるのか? ・ 一般労働時間に沿った決め方だと分かりやすい。



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	4	・ 24 人。 ・ 人口減少の将来を考えれば定数は減ると思う。 ・ 常任委員会の委員数から 24 名。 ・ 報酬を上げるには定数を 24 名に減らす。
⑤	16	・ 業務量に見合った定数であることから現状で良い。 ・ 定数は現状で良い。26 人。 ・ 定数は 26 名。人口が減るもののやることが増えている。 ・ 人口に比例して定数を決定する。現在は 26 名で良い。 ・ 定数は今のままで良い。 ・ 定数は現在の人数で妥当である。 ・ 議員定数は 28 名～30 名に増員した方が良い。 ・ 議員定数は、現段階ではこのままで良い。(26 名) ・ 定数は現状で、人口に合わせていくよう検討。 ・ 定数現状。 ・ 定数について現状維持 26 名。 ・ 現状で可。 ・ 定数は 26 名が地域を見ると適当と思う。 ・ 定数を減らさない。 ・ 北上市は人口 93,000 人で 現状維持の 26 名でいいのではないかな。 ・ 定数によって北上市が良くなるのであれば 現状の 26 名でも良いと思う。
⑥	8	・ 人口が減少してくると見直しすべき。 ・ 議員を各行政区より 2 名出す。 ・ 議員の皆さんが一番良く分かっていると思うが正直なところは？ ・ 26 名から 24 名になった場合のメリットとデメリットは？ ・ 議員で役割分担をすると 24 名では間に合うのかどうか？それによっては時間配分で多くするのも良い。 ・ 定数はどのように決めているのか？ ・ 定数によって北上市が良くなるのであれば 現状の 26 名でも良いと思う。しかし、活動をあまりしない議員がいるのなら減らしてもいい。 ・ 議員の議決によって決める事だから良いのではないかな。



その他にどのような条件・制度が必要か

<社会保険・年金・退職金>

- ・社会保険は必要。
- ・報酬を上げられないのであれば、社会保険（年金・健康保健）を充実した方が良い。
- ・社会保険制度を取り入れた方が良い。
- ・社会保険の充実。
- ・議員の厚生年金は将来のために必要。
- ・議員年金復活を。
- ・年金制度の復活。
- ・議員の期間は個人年金に加入してはどうか。
- ・厚生年金を掛ける 国民年金では安すぎる。

<選挙・議員の選び方>

- ・議員に定年制を。
- ・議員年齢の立候補時の年齢の取り決めをする。78 歳。
- ・年代ごとの公募。特に若い人。

<政務活動費>

- ・政務活動費を増額すべきと思う。

<広聴広報の強化・情報公開・市民参加>

- ・市議会議員とはどのような仕事なのか、子ども（小学生）に説明する環境などあれば、大人になったらやりたいという子ができるかもしれない。

<その他>

- ・人口の少ない更木のような地域からも議員選出が途絶えないように。（地域代表）
- ・議員の魅力をどうするか。
- ・手続きが面倒なのでなくても良い。



⑧黒岩地区（４班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	3	・ 議員として費用もかかるので 40 万円前後で良い。 ・ 生活給として保障すべきだ。 ・ 報酬は上げるべきだ。ただし、町村を考えると低すぎるので国費で交付金をだしたらどうか
②	0	
③	3	・ 報酬を年代別に差をつける。 ・ 若い 1 期目の議員は最初のみ高く設定。 ・ 議員の評価により差をつける。→難しい。

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	2	・ 24 名。 ・ 23 名。
⑤	2	・ 現状の 26 名で良い。 ・ 定数は現状で良いが、常任委員会は廃止して全員で協議してはどうか。
⑥	0	

その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞ ・ 厚生年金が必要。 ＜選挙・議員の選び方＞ ・ 金のかかる選挙制度の見直しが必要。 ・ 各地区から 1 ～ 2 名出す。（人口の多い地区は増） ＜政務活動費＞ ・ 政務活動費を上げる。 ＜その他＞ ・ 市民の議員体験を試行してはどうか。 ・ 本気で人口増加への具体策を議員の政策提言に。。

⑨口内地区（3班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	5	・ 40 万円で妥当だ。 ・ 40 万程度。 ・ 40～50 万。実績が目に見えれば、市民とすればいくらでも良い。 ・ 上げるべき。 ・ 議員活動だけでなく色々と忙しそうなので、50 万以上なら立候補を少し考えるかも。
②	3	・ 現状維持。 ・ 交流センター職員など他団体の報酬が上がっていない中、議員だけの議論は理解できない。 ・ 同一労働同一賃金職を考えると、ボランティア的要素または自分のスキルアップ分も時間にカウントしている。
③	7	・ わからない。 ・ 具体的な数値（金額）はわからない。 ・ 最低生活給＋出来高制はどうか。 ・ 報酬の到達点が、市長との比較なのか、課長との比較なのか、職員平均との比較なのか、見えない。 ・ いくらが適正かは分かりませんが、自分なら 35 万ではやりません。 ・ 実際議員の方々は少ないと感じているのであれば、いい仕事（もっと頑張ろう）はしないのではないか。 ・ 金額のことはよくわからないが、今後も出てくる話なので、今回算定根拠をしっかり定めた方がいい。



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	4	・ 24 名。 ・ 減らす。 ・ 定数は、説明を聞くと 22 名でもいいのかなあとと思います。 ・ 一地区一議員制
⑤	5	・ 現状の定数。 ・ 現状で良い。 ・ 議員が出やすくするためには、多い方が良い。 ・ 16 地区から各 2 名で、計 32 名。 ・ 人口が少ない地区からの代表を選出するため 26 名。
⑥	3	・ 30 人から 26 人に減ったことで、何か問題があったか。メリット、デメリット。 ・ 23 人か 25 人。とにかく奇数がいいと思います（議決しやすい）。 ・ 各地区から必ず議員を出すというのも疑問で、市の代表だから市全体を考える人数がいればいいと思う。

その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞ ・ 厚生年金制度加入。 ・ 社会保険制度の加入は絶対必要。（どこかの社長や役員なら別だが） ・ 退職金の制度創出。 ・ 福利厚生ちゃんとしてあげて。 ＜選挙・議員の選び方＞ ・ 過去を踏襲したお金がかかる選挙活動を改めていかないと誰も立候補しないと思います。 ・ 選挙制度。 ・ 若い議員、女性議員増やしてほしい。 ・ 女性・若い人も。 ・ 女性議員とサラリーマンが議員になりやすい条件づくり。議会開催の時間、土日開催、企業への補償。 ＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞ ・ 議員の活動実態が目に見えない。市議会だよりだけでは不十分。 ・ 市民目線の分かりやすい言葉で、政治活動等を説明してほしい。 ・ 議員ひとりひとりの活動が見える手法があれば良い。 ・ 議員と市民意見交換会を制度化してほしい。 ・ 市民と直接話す場をいっぱいつくって。 ＜その他＞ ・ 他の市町村の事例が分からないのでアイデアがひらめかない。 ・ 地域のイベントに、何でもかんでも呼ばれているのを見て大変だと感じています。「地元の議員」という意識がまだ強い。負担を減らす方法を。

⑩稲瀬地区（2班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	2	・ 高い志に応じた報酬は当然とも思う。 ・ 報酬は上げるべき。生活できるような金額。
②	5	・ 報酬さえ上げれば議員になるのか。志が大事。 ・ 今の報酬の額でなぜ足りないのかわからない。 ・ 市の財政を考えると、公共施設のあり方を議論せずになぜ議員報酬なのか？ ・ 非正規で民間企業、中小で働いている人の給料、年間 200 万円以下、その人のことも考えて給料を考えてほしい。 ・ 報酬を減らし、定数を増やす。地域の声を。(②と⑤にカウント)
③	1	・ 報酬が問題になったそもそものきっかけは？

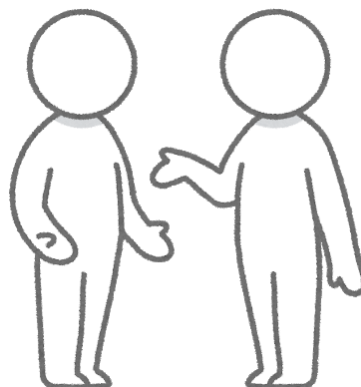
定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	0	
⑤	1	・ 報酬を減らし、定数を増やす。地域の声を。(②と⑤にカウント)
⑥	2	・ それぞれの地域にはその地域にある課題があり、理想的にはどの町にも代表者、議員がいる方が良い。他の議員にお願いするより、地元で議員がいれば。 ・ あまり多いと議員の質が落ちるのでは？

その他にどのような条件・制度が必要か

・ 議員の必要性を感じない。 ・ 議会の会議が多い（委員会など）。会議を減らすべき。 ・ 若い人が議員になって 30 年務めてほしい。任期を長く。



⑪相去地区（3班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	15	・現状より上。 ・報酬は上げて良い。 ・提示された活動量からみて約市長の半分くらいですが、それ以上の活動量と見て市長の2/3程度。 ・市職員の給与を参考に、課長級以上。 ・市職員（課長クラス）並にする。人事院勧告を参考にしては。 ・兼職しなくても生活できる水準に。 ・40～50代が専業で活動できるように、基本的には生活給を保障すべきである。 ・議員といえども労働者なので、対価は当然支払われるべき。 ・試算の40万円程度（以上）は妥当であると思う。 ・増額には賛成だが、県内市町村、東北地区との比較をした上で額を検討した方がいい。 ・生活給を考慮し設定する。（議員として）活動費をアップする。 ・450,000円。 ・やりたくなる金額40万／月。 ・生活の保障がある40万くらい妥当。
	(1)	・定数を20名として、市議予算は変更なしでアップの原資とする。(①と④にカウント)
②	6	・特に上げる必要がない。（市の財政が苦しい時に上げるのは厳しいと思う。） ・一般市民との格差は？市役所職員は平均値でない。 ・議員はボランティアの気持ちがなくてはダメ。議員は他の仕事で収入を得ることが許されているのだから。 ・現状のままで良い（月の活動費及び研修費も出ているので） ・財政の照合、市の予算との割合はどうか。市の借金の返済が先。 ・現状維持（26名）、報酬も現状。今は財政が厳しい時期なので、回復するまで様子を見る。(②と⑤にカウント)
③	8	・市の全体の予算を考慮すべき ・兼業との関連、良いかダメか。 ・市の財政状況を考慮し、他市と比較、決定する必要有 ・報酬は活動内容、活動時間によって決められると思うので、他市町村と比較しても意味ないのではないかな。北上市議として必要と思う額は自分たちで決め、第三者に判断してもらったら。 ・活動に応じた報酬、対価を考えるべき。 ・奥州市や一関市等県南市町村を参考にしては。 ・他議会との比較。 ・示されたデータをみれば、値上げもやむなしかな。しかし、兼業とか生活とかでるとなじまない感がある。

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	16	・ 24 名。 ・ 報酬を上げるには 24 名にする。 ・ 定数は減らす。(4～5 名) ・ 市にある 16 センター＋5＋議長で 22 名。 ・ 23 名は必要ということであれば、それにプラス 1 名の 24 名が妥当。 ・ 北上 16 地域から代表で良い。16 名程度≒20 名程度か。 ・ 総体の費用の関係もあり、減らす。最少定数にすべき。 ・ 人口減少になっていくことを考えて、少な目で最少は 16 名。 ・ 地区代表として出さない。人物本位で選出すべき。値上げするのであれば、人数を減らす。 ・ 2 人定数減。(報酬を増額する分) ・ 定数と報酬を連動させて、現在の報酬を定数で割る。(増やした分) ・ 定数は減らしても良い。(24 人か 22 人) ・ 定数は現在より 2 人減で良い。 ・ 24 名。 ・ 定数 24 名。
	(1)	・ 定数を 20 名として、市議予算は変更なしでアップの原資とする。(①と④にカウント)
⑤	3	・ 現状維持 (26 名)、報酬も現状。今は財政が厳しい時期なので、回復するまで様子を見る。(②と⑤にカウント) ・ 現在のまま (26 名) で良いのではないかな。市議の活動意欲にもよるが…。 ・ 現在の定数の何倍でもいい。
⑥	4	・ わからない。 ・ 定数の基礎は明確にされているのか。 ・ 定数は市民もわかっているか。基礎が必要ではないかな。 ・ 地域代表との関連。人数の前に特定地域に偏りはないかな？



その他にどのような条件・制度が必要か

<社会保険・年金・退職金>

- ・社会保険制度等に加入すべきでは。
- ・年金制度。ただし現在の議員からで元議員は対象外。
- ・社会保険制は必要。(制度化すべき)
- ・年金の復活(国民年金だけでは)2期8年が条件。
- ・退職一時金(ご苦労さん手当)。市と議員が互いに向上するように。
- ・身上保障。
- ・今まで通り。
- ・今まで通りの年金・保険。

<選挙・議員の選び方>

- ・議員任期は最大2期にする。3期以上はNG。
- ・任期制限を取り入れる。3期で次の人にゆずる。
- ・3期議員をやった人は以降の報酬を保障する。(3期まで)
- ・女性の政治参加の意識の強弱にもよるが、やはり女性議員数を増やす方策を考えるべきだ。
- ・議員の男女比を50:50にする。
- ・女性議員を8割にもっていく(条例)報酬定数の問題はなくなると思う。
- ・女性議員が出やすい条件を整えるべき。(出産・子育てしやすい条件)

<政務活動費>

- ・政務活動費アップ。(活動量に偏り・使えるように)
- ・政務活動費を年48万円に。
- ・活動費に差OK。

<その他>

- ・現状の制度や条件を生かしなが議員活動がんばってほしい。
- ・定数に満たない場合の条例の制定。
- ・北上市の財政に合わせ、報酬を変化させる制度を考える。
- ・安心して議員活動可能な制度を充実すべき。
- ・市政調査の増額。うんと勉強してもらいたい。
- ・わからない。



⑫鬼柳地区（2班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	12	・ 40 万円。活動量から。 ・ 少し上げ、45 万程度。 ・ 自分が立候補するなら 40 万円が良い。後援会等に金がかかる。 ・ 活動量に見合う金額まで上げた方がいい。 ・ 市長との比較から、現状で計算された金額 40 万くらいがいい。 ・ 報酬は生活できる金額は必要。 ・ 活動時間が多いので報酬を上げてても良い。 ・ 報酬は 40 万で良い。 ・ 妥当な金額に進めていくように。 ・ 議員報酬は個人活動をみて 50 万円（議員の活動補助分の日当も含めて）。 ・ 通年議会の採用によるアップは必要と思う。金額は調査資料参考で十分と思う。 ・ 計算式が出ているのでそれがベースとなるが、報酬だけでなく社会保障の点も考えると高い方がよいのでは。
②	4	・ 市の部課長との比較であれば、稼働時間 50%くらいと思われる。現状で良いのでは。 ・ 現状で。ただし、職員が変更された場合はそれに応じて。 ・ 現状にて。 ・ 現状で良し。
③	8	・ 会社員との比較もしてほしい。 ・ 年齢によって報酬を変えては。 ・ 現職の経験上の意見はどうか。 ・ 議員は現状をどう思っているのか。生活給と考えるとどうか。多いのか少ないのか。 ・ 経験年数（当選回数）とかでプラスする？ ・ 基本給プラスα（成果、どのくらいできたか）。 ・ 年齢加算（減算）も 1 つかも。 ・ 市の予算の○%とか、他の地方の情報を参考に。



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	4	・ 定数は 24 名。 ・ 定数は先程の説明の 24 名が妥当。 ・ 定数は 24 が適切か。 ・ 定数は 30 人から 26 人、そして今度の検討。人口減は避けられない状態なので、前減はあるべき 24 人。
⑤	12	・ 現状定数 26 人。 ・ 市の人口割合であれば 24 名だが、現状 26 名でよい。面積が広いことも考えて、最低 1 名地域から出てほしい。 ・ 現状で（26 人）ただ、旧行政区でも最小 1 人は必要。 ・ 現状 26 人。各 16 地区から 1 人ずつは必要。 ・ 現状（26 名）で良し。 ・ 現状。 ・ 現状維持。過疎地域がないように。 ・ 現状 26 人。議員ゼロの地区をなくす。 ・ 定数は 26 名にすること。 ・ 定数は現状で良い。 ・ 定数が減り過ぎると、1 人の時間が増えてしまう。 ・ 議員数は適正と思う。現状の 26 名。
⑥	3	・ 偶数には賛成。現職の感覚としてはどうなのか。 ・ 24 名の根拠は？常任委員会の人数はみんな同じ？必要なんですか？ ・ 地区からの意見を入れる。



その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・社会保険制度は、市長も議員も同様とする。
- ・年金制度（議員年金）必要では。
- ・厚生年金に加入。退職金支給。
- ・厚生年金、退職金など社会保険制度を導入する。
- ・生涯にわたる生活保障は必要。議員の中の女性の割合を決める。
- ・年金について、今の若い人達は年金に期待してないです。
- ・退職金。

＜選挙・議員の選び方＞

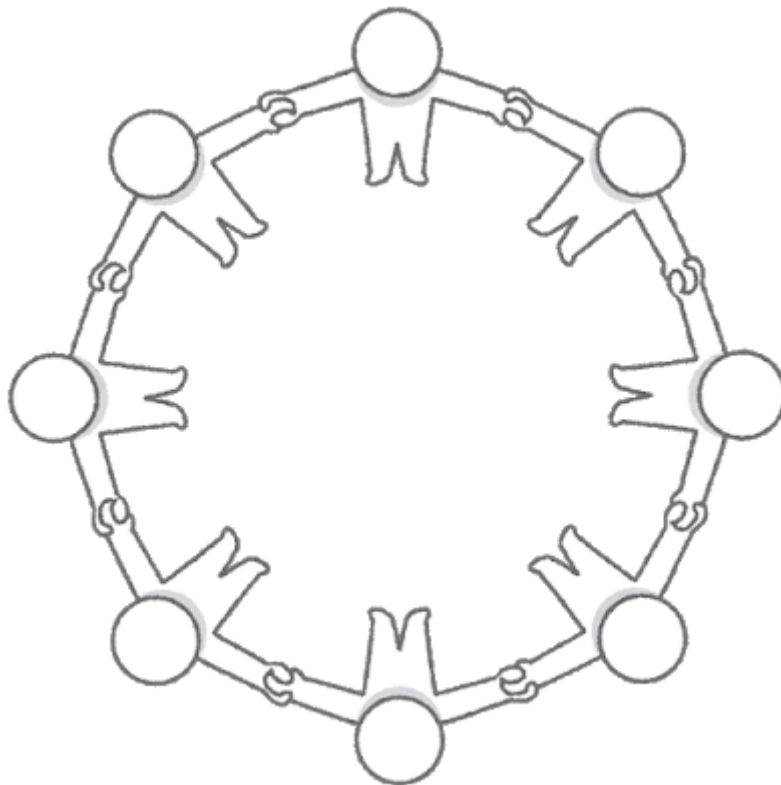
- ・選挙費用をかけない方法。

＜政務活動費＞

- ・政務活動費の増額。

＜その他＞

- ・議員インターンは良いこと。一步進んだ体験制度（若年者）もあればと思う。
- ・インターン制度も良いが、その時の報酬はどうするか？（時給は、パート賃金くらいは必要ではないか。）
- ・地域活動をした人の方が応援しやすい。地域活動ができるようなサポート体制があればよい。
- ・住民意識の改革。地域行事への半強制参加。（議員からすれば顔と名を売るチャンスでもあるが）
- ・マニフェストを出しやすくする。
- ・報酬に対する冠婚葬祭費の割合は？（現状）
- ・弔電を廃止すれば負担が減る。



⑬江釣子地区（3班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	2	・特別職等報酬審議会の意見も参考にすべきであるが、アップを検討すべき。 ・部長級程度まで引き上げるのが妥当。
②	1	・夜の会議を増やして、兼業を認めて、議員をやれるようにするのであれば、現状でもいいのでは。
③	6	・報酬額の全国平均額は、参考としては必要。 ・北上市長、議員、市職員の報酬額は、全国平均を目標とすることなく、あくまで市税収入に見合った額とすべき。 ・報酬を上げる場合の視点として、活動時間数や職務、責任の視点から検討してはどうか。 ・報酬を上げるのであれば、北上市株式会社の社員といった自覚がないと、市民の理解は得られない。 ・分からない。 ・市民サービス向上を図るため、市の職員の処遇改善も。

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	0	
⑤	3	・現状で良いのでは。 ・様々な意見を反映させるため、むやみに減らすべきではない。 ・地域の代表（代弁者）でもあるので、一律減員は消極。
⑥	2	・全国平均は参考として必要。その上で、北上市の財政に見合った人数とする。 ・定数と報酬は連動させるべきではない。各地域から議員を出せるようであれば好ましい。



その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・厚生年金を。

＜選挙・議員の選び方＞

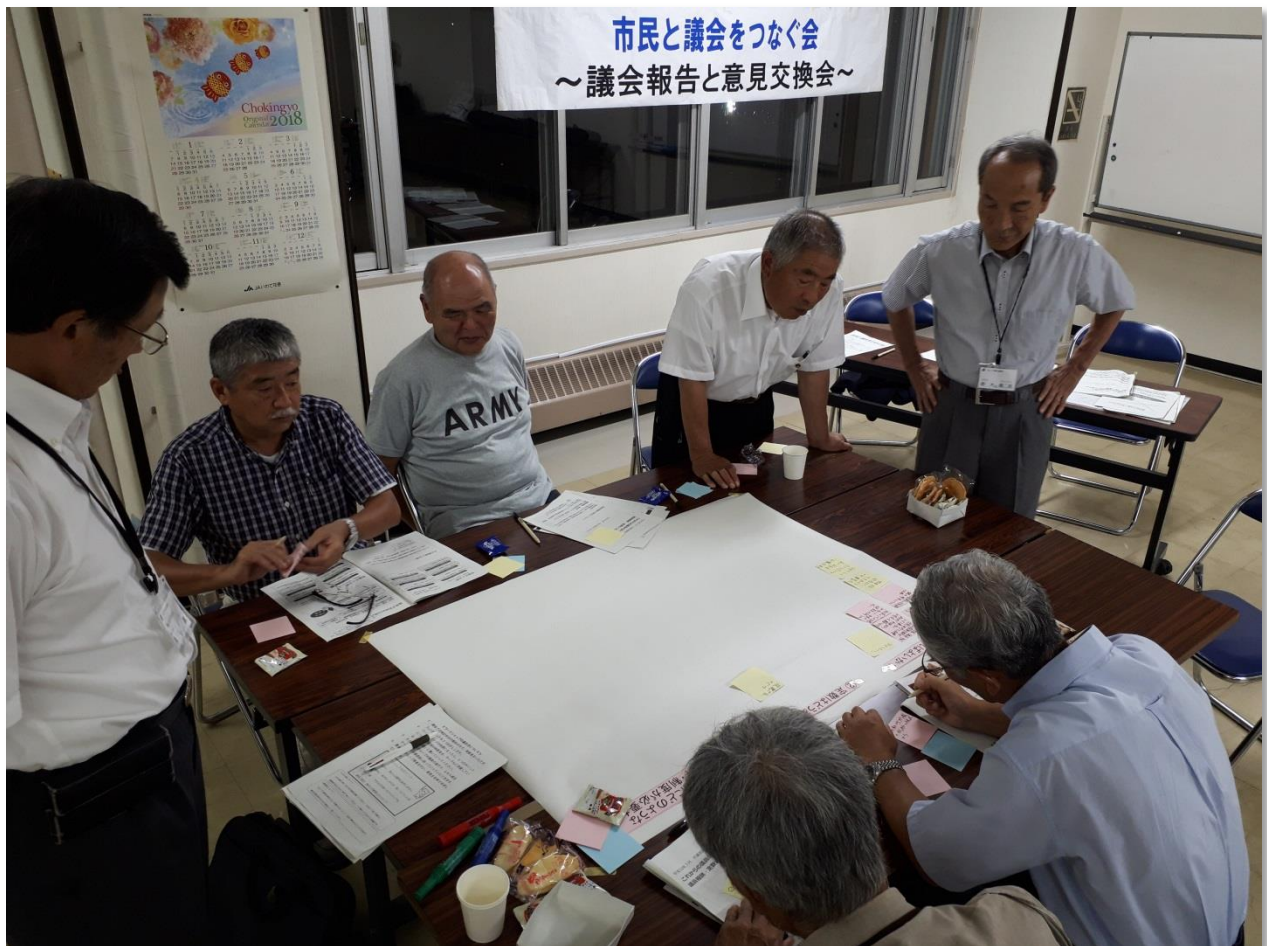
- ・選挙制度の改革が必要。
- ・お金をかけなくてもいい選挙の方法を考える事が大切。(お金がかけなくても立候補できる北上ルールを作る。)

＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞

- ・常に目安箱的な市民の意見を聞く姿勢が必要と考える。

＜その他＞

- ・日中の会議を少なくして、夕方または日曜、祭日等を。
- ・柔軟性が必要。基本的な考え方として、北上市の財政に見合った変動であれば、市民の理解は得られる。
- ・兼職を禁止してはどうか。(議員の専業化)



⑭和賀地区（1班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	7	・活動量に見合った報酬。40 万以上良い。 ・報酬 40 万程度が妥当と思う。 ・提案の 40 万で良い。 ・議会の意思を尊重する。 ・生活できる額に 40 万くらいは必要かな。 ・生活保障の範囲の金額を。
	(1)	・報酬は市の議員報酬総額が増えないように（報酬増であれば定数減）（①と④にカウント）
②	2	・現状で良い。 ・現状で良い。
③	7	・活動に見合った報酬で良い。 ・他市の状況を見すえた活動量に見合った報酬とするべき。 ・活動ありきの報酬だと思う。他と比較をすることもある程度は必要だと思うが、活動が見えるようにしてほしい。 ・市民の否定もあれば、期間を設けて見直しをする。 ・報酬は 37 万くらい。 ・質問を政策に反映させたらボーナスアップ。 ・企業内で候補を立て保障する。



定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	5	・ 定数は 24 名が良いと思う。 ・ 減らして良い。20 名。 ・ 定数は少し減らす。 ・ 定数云々よりも活動する上で障害にならないければ、定数減でも可。
	(1)	・ 報酬は市の議員報酬総額が増えないように（報酬増であれば定数減）(①と④にカウント)
⑤	7	・ 現状の 26 名で良い。 ・ 現状の 26 名でよい。 ・ 定数は 26 人に。 ・ 定員が減ったら、ますます市民の気持ちが離れる。 ・ 地域代表を選びにくくなるので、現状維持。 ・ 議会の機能が崩れてはいけないと思うので、定数は現状で。 ・ 現状 26 人。（8 人×3 常任委員会）
⑥	3	・ 議会の意見。 ・ 議会の中で必要であればそのまま、そうでなければ減らすとかすれば。 ・ 他議会との比較し進めてほしい。



その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・厚生年金があれば良い。
- ・年金等の制度が必要だと思います。
- ・働く上での保障は必要。厚生年金。退職金はいらない（弊害がでる）。
- ・社会保障も充実させて。
- ・社会保険に加入できるよう考えた方が良いと思う。

＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞

- ・若い人達に見てもらえるような議会だよりを。
- ・議員ひとりひとりの意見を住民皆が知ることができる場を設ける。

＜議員の評価＞

- ・議員評価するのは地域であり、地域が評価する制度があれば…。
- ・地元や他地域で評価。他議員の評価。

＜その他＞

- ・若い人は選挙に落ちると生活が成り立たない。
- ・会社勤めの人は立候補はムリ。
- ・議員のなり手が少ないのは、報酬以外の要素が多いので、選挙の当落、年金のリスクを減らすことを考える。
- ・政策をやり遂げると 10%報酬アップなど、モチベーションを上げる。
- ・議員の質問力の向上が必要。
- ・市当局をうならせるような質問が少ない。
- ・住みやすい都市 1 番に満足している議員がいる。
- ・議員に立候補しようと決意するのは、市民の命とくらしに課題、疑問を持ち、どうにかしたいと熱くなった時なのではないか。そのために、本日のようなつなぐ会、その他の活動に参加できるような環境を作ることが大切なのではないか。



⑮岩崎地区（2班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	6	・活動時間等から見れば、現状は低い。アップするべき。（月額 50 万） ・40 万程度が良い。 ・報酬は生活給を基本に値上げは良い。（40 万くらい） ・議員活動報酬をもう少し上げて（40 万）、もっともっと活動をしてもらいたい。 ・22 年間変更無いのであれば、いくらか上げて良いのでは。
	(1)	・定数を少なくして報酬を上げる。（①と④にカウント）
②	1	・報酬はもっと低くしてほしい（市の財政が厳しいから）
③	7	・年代ごとに金額を決める。（40 代、50 代、60 代） ・総所得で検討が必要。 ・能力報酬制にしては？1 期目と 4 期目では能力差があるのでは。 ・議員を続けるにはこの金額が必要とする数字を出すべき。 ・年金対象者と他の人を区別する。 ・他の職業をしながら議員活動をしている人もいたりして、議員の仕事は忙しいと思う。活動量を見ながらというのが理想ですが。 ・報酬は現状維持で、手当の分を考慮し、増とする。（出席報酬を出す）

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	8	・地区制 16 人＋6 人＝22 人。 ・人口減を考え減らす。 ・議員定数は 24 名が良いと思う。 ・定数は、市内 16 交流センターごとの 16 人にしてほしい（小選挙区制にする）。選挙費用が分からないため。 ・上記意見に同感。（小選挙区制の定数 16 人） ・議会運営ができる最低の人数を超える数。 ・最低限必要とされる 23 名（常任委員会）。
	(1)	・定数を少なくして報酬を上げる。（①と④にカウント）
⑤	5	・定数は減らさないでいい。各地区 16×2＝32 名が妥当。 ・定数を減らすのは良くない。無関心層が多くなってしまう。 ・増員して各議員の負荷を下げる。 ・定数は現状で良い。 ・定数現状。
⑥	2	・今までのデータをもとに考えてほしい。 ・世代別定数を出す。

その他にどのような条件・制度が必要か

＜社会保険・年金・退職金＞

- ・厚生年金付与。
- ・厚生年金は適用すべき
- ・厚生年金が良いと思う。
- ・年金は議員年金制度が必要
- ・退職金制度を作る。年金制度もつくる。
- ・退職金制度。

＜選挙・議員の選び方＞

- ・報酬を話し合う前に、議員への各種援助を多くするべき（選挙費用等）。

＜広聴広報の強化・情報公開・市民参加＞

- ・市政や選挙に関心を持ってもらえる仕組みがほしい。

＜議員の評価＞

- ・議員の評価制度。

＜その他＞

- ・確実に当選するとなれば出る。
- ・議員養成セミナーの開催（公募市民）。



⑩藤根地区（3班）

報酬はどうあればよいか

① 肯定的	算出方法や報酬増額への賛意
② 否定的	現状維持、算出方法への疑問
③ その他	報酬に関する質問、算出方法に関する意見等

分類	意見数	意 見
①	7	・ 通年議会になってからは、やはりしばられることが多いので、多少は上げてもいい。 ・ 通年議会となり、活動量増加。報酬の引き上げが必要。 ・ 40 万では若い人は出ない。もっと上げないと。 ・ 報酬 60 万。 ・ 値上げして良いと思います。44.5 万×18 カ月。 ・ 議員としてほしただけ請求すれば良い。 ・ 給料なら好きなだけもらえば良いのでは？
②	1	・ 活動時間は社会で仕事をしている方より少ないのでは。
③	4	・ 議員報酬をアップすることにより、市の財政に及ぼすことは。 ・ 市の財政との関係。負担にならないくらいならいい。 ・ 活動が見える議員と見えない議員があるので、何とも言えない。 ・ 多いか少ないかわからない。

定数はどうあればよいか

④ 定数減	24 名またはそれ以下への定数減
⑤ 定数維持	26 名の現状維持または定数増
⑥ その他	定数に関する質問、その他の意見

分類	意見数	意 見
④	2	・ 議会の機能を考慮し、24 名。 ・ 定数 2 ～ 3 減。
⑤	4	・ 現状がいいのでは。 ・ 人数が減れば活動が大変でしょう。 ・ 市民の色々な意見を反映させるためにも、定数は現状どおり。 ・ 現状の 26 名で良いのではないか。
⑥	3	・ 定数は現状維持もしくは 2 減。 ・ 定数はいらない。 ・ 選挙制度に問題があるのでは？定数に縛られるのは本来の考えからそれるのでは？

その他にどのような条件・制度が必要か

<社会保険・年金・退職金>

- ・厚生年金制度に加入できるように。
- ・社会保険制度は必要。
- ・経験年数に応じて退職金を支給。

<選挙・議員の選び方>

- ・職業とするなら選挙なし。

<議員の評価>

- ・議員活動を調査する団体を作るべき。

<その他>

- ・若い人を取り込む場合、夜間議会も必要ではないかと思う。
- ・議員養成学校を設置し、プロをつくる。
- ・将来の議員育成のためのアカデミー大学の創設。
- ・インターン制度は非常に良いと思います。
- ・地方自治関係の学科に進み、将来議員になった人への奨学金の全額免除。
- ・土日議会も必要。週休2日制を。
- ・土日のイベントのあいさつ要員となることも控えても良いのでは。
- ・財政をもっとチェックして。
- ・16 地区や地域代表はいらない。



(4) いただいた質問・疑問に対する議会からの回答

市民と議会をつなぐ会でお聞きした質問・疑問にお答えします

1 議員報酬について

Q：月額で 351,000 円とのことだが、手当を含め年額ではどうなっているのか？

A：月額報酬に加え、6 月と 12 月には期末手当が支給されています。期末手当の支給額は、 $(\text{月額報酬} \times 1.15) \times \text{支給率}(1.625) = 665,931$ 円です。年額の合計では 5,543,862 円（所得税等控除前の総支給額）となっています。

Q：役職に対する手当はどうなっているのか？

A：議長と副議長については、議員とは別に報酬を定めています。議長は 457,000 円、副議長は 383,000 円の月額報酬となっています。なお、常任委員長や議会運営委員長等への手当はありません。

Q：議員の活動時間から報酬を検討していたが、地域行事への参加もその時間に含めているのか？

A：地域行事への参加は、議会の機能と役割から少し離れるため、議員報酬の対象とはならないと整理しました。同様に、後援会活動や選挙活動といった議員個人の活動も公務性が低く、議員報酬の対象としないとしています。

Q：仮に議員報酬を 40 万円にした場合、全体でどの程度の予算が必要となるのか？

A：次の①～③の条件で試算しました。①議員報酬を月額 400,000 円と仮定、②議長及び副議長の報酬と議員報酬との割合を現在と同程度と仮定（議長 520,000 円、副議長 436,000 円）、③定数は 26 名と仮定。その結果、報酬及び期末手当で 2,150 万円ほど、市議会議員共済会（※）負担金で 600 万円ほどの増が見込まれ、合計 2,750 万円の増額が必要となると試算しました。

※市議会議員共済会：旧地方議会議員年金が廃止となる前に給付事由が生じた年金等を支給する組織。全国の市議会は、議員報酬の額に一定割合を乗じた額を負担金として支払っています。

Q：県内他市の議員報酬はどのようになっているか？

A：次の表のとおりです。

市名	議員報酬（円）	市名	議員報酬（円）
盛岡市	617,000	一関市	360,000
宮古市	320,000	陸前高田市	300,000
大船渡市	320,000	釜石市	313,000
花巻市	339,000	二戸市	301,000
北上市	351,000	八幡平市	300,000
久慈市	303,000	奥州市	360,000
遠野市	302,000	滝沢市	329,000

Q：財政規模での北上市の順位はどうなっているか？

A：平成 28 年度の一般会計歳入総額では、全国 814 団体中、北上市は 340 位となっています。なお、報酬が 340 位の団体の報酬額は 410,000 円となっています。（総務省平成 28 年度市町村別決算状況調）

Q：市職員との比較をしているが、民間との比較ではどうか？

A：岩手県人事委員会による平成 30 年職種別民間給与実態調査では、事務関係職種及び技術関係職種について次のとおりと公表しています。

職種名	平均年齢	平均支給額	職種名	平均年齢	平均支給額
支店長	59.3	544,413	工場長	50.6	685,543
事務部長	55.3	555,234	技術部長	52.7	589,125
事務部次長	52.9	546,231	技術部次長	52.4	576,829
事務課長	49.9	547,088	技術課長	50.3	503,390
事務課長代理	47.5	460,747	技術課長代理	48.6	420,200
事務係長	49.6	425,492	技術係長	46.5	364,489
事務主任	42.9	331,289	技術主任	45.5	314,259

Q：経験年数や活動量によって報酬に差を設けてはどうか？

A：今回の議員報酬の検討において、年間の標準活動量を平均 1,057 時間と算出しました。この活動を行うことについては、経験年数による差はないと考えます。また、1,057 時間以上に精力的に活動する議員もいると思われますが、活動量の実績値を把握し評価することは現実的には困難であるため、報酬に差を設けることは想定していません。

Q：出張の際の交通費等はどうなっているのか？

A：公務としての出張については、「北上市議会議員の議員報酬及び費用弁償条例」に基づいて旅費（交通費・宿泊費・日当）が支給されます。政務活動の場合には、月額 20,000 円の政務活動費から交通費や宿泊費を負担することになります。〔政務活動費については⁴を御参照ください〕

2 議員定数について

Q：前回 30 名から 26 名に定数を減らした際の理由は？

A：平成 21 年から 22 年にかけての検討は、本会議において議長を除く議員数が可否同数となることのないよう定数を偶数にすべきとの意見や、議会を取り巻く厳しい情勢を受け止め、定数を 10%以上の減とすべきとの意見を尊重し、4 名減らして 26 名とするというものでした。また、併せて常任委員会の構成を 4 から 3 に再編しました。

Q：2 名減の 24 名とする考え方の根拠は？

A：地方自治法第 2 条第 14 項で「地方公共団体は[略]、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と定められていることから、議会の機能を低下させない範囲での最低限必要な偶数の定数として、24 名が好ましいという考え方です。積算は、3 つ常任委員会の委員が 7 名ずつと、議長と議選監査委員で 23 名になり、偶数ということから 24 名としています。議選監査委員は常任委員会に所属しますが、年間 400 時間ほどの活動があり、常任委員会への毎回の参加が困難となることを想定し、常任委員会の委員数 7 名には含めずに求めたものです。

3 議長交際費について

Q：議員の交際費は公費から負担しているのか？

A：議長が交際上必要とする経費で、議長交際費支出基準に沿うものについては公費から負担していますが、個々の議員の交際費について公費負担はありません。なお、議長交際費の支出状況については毎月北上市議会のホームページに公開しています。

4 政務活動費について

Q：年間でどの程度か？議員によって差はあるのか？残額はどうしているのか？

A：議員の調査や研究に必要な経費の一部として、会派及び会派に属さない議員に対し、1人月額20,000円、年額では240,000円の政務活動費を支給しています。支給額に議員による差はありません。使途を細かく規定しており、収支報告書を提出することとしています。また、政務活動費検証委員会を開いて収支報告書を会派相互に検証し、使途の透明性の確保に努め、残金は返還しています。なお、収支報告書や領収書の写しは、市議会のホームページで公開しています。

5 市の財政状況について

Q：市の予算の中で議会に係る費用はどの程度か？

A：平成30年度当初予算に占める議会費の割合は、およそ0.68%となっています。決算額では、平成10年度前後は0.85～0.89%、平成20年度前後は0.81～0.83%であり、議会費の割合は減少傾向となっています。



Q：議員報酬を考える前提として、市の財政状況はどうなっているのか？

A：きたかみ市議会だより第111号（平成30年10月26日発行）に次のように掲載しています。

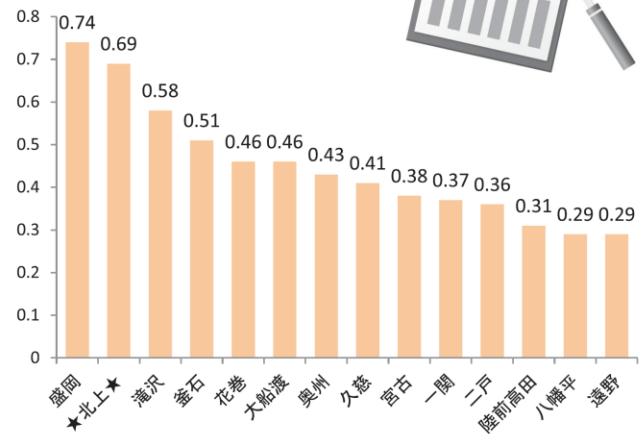
財政状況は？

財政力指数は県内14市中、2位

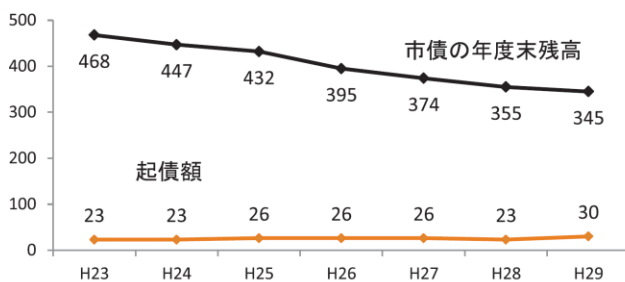
財政力指数とは、市町村の財政力を示す数値で、1.0に近づくほど財政的な体力があるとされています。北上市の平成29年度の財政力指数は0.69で、前年度を0.02ポイント上回りました。県内14市の中では、盛岡市に次いで2番目に高くなっています。

また、平成29年度末の市債残高（借金残高）は約345億円で、前年度と比較すると約10億円減少しました。新たな起債を抑制してきたことと、償還（借金の返済）が進んだことによるものです。平成29年度末の市債残高を市民1人当たりで換算すると約37万円で、県内14市中2番目に低くなっています。

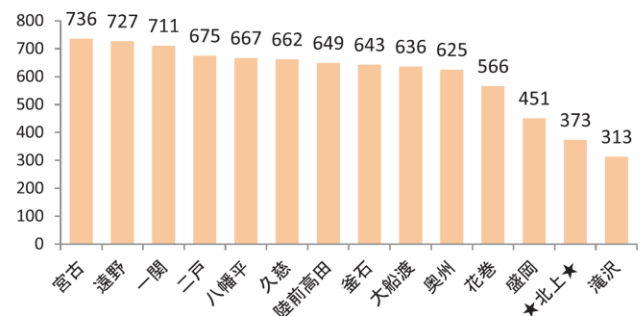
■財政力指数



■市債の年度別推移（億円）



■市民1人当たり市債残高（千円）



6 社会保障制度について

Q：以前の議員年金が廃止になったのは、どのような理由からか？

A：旧地方議会議員年金は、市町村合併により掛金を払う現役議員数が減少したことに加え、行政改革に伴う議員定数と議員報酬の削減が行われたことが影響して財政状況が悪化し、持続的な制度として継続することが困難となったため、平成23年6月に廃止となりました。

Q：廃止になった議員年金と厚生年金の違いは？

A：厚生年金には、一般の会社員、市長、市職員も加入しており、議員だけを対象とした旧地方議会議員年金とは異なります。旧地方議会議員年金の受給資格は在職12年でしたが、厚生年金に加入した場合は、受給資格期間の一部として計算されます。

Q：厚生年金に加入するとなった場合、公費の負担はどの程度か？

A：仮に議員報酬月額を 40 万円と仮定した場合、厚生年金等の社会保険に加入する際の公費負担は議員一人あたり年間 95 万円程となります。

Q：退職金の制度はできないのか？

A：現在、議員がその身分を失う場合の退職金の支給はなく、北上市において制度を設けることは困難です。

7 選挙について

Q：地域代表のように選挙区制はできないか？

A：指定都市以外の市町村において、条例による選挙区を設置した例はほぼ皆無と言えます。これは、選挙区を設置した場合、候補者にとっては特定の有権者層の支持を固めれば当選できるという状況になり、選挙運動の対象とされない有権者が増えることで、有権者の無関心につながるとの指摘があることが理由と考えられます。

Q：定年制を設けることはできないか？

A：政党内で定年について取り決めている場合がありますが、判例では選挙権が保障されているのと同様に立候補の自由も保障しなければならないとされており、北上市が定年制を設けるということはできません。

8 広聴活動について

Q：若年層の声をどのように聞くのか？

A：北上市議会基本条例には、議員と市民が自由に情報、意見を交換する議会報告会を開催することを定めており、毎年「市民と議会をつなぐ会」を開催しています。市内 16 地区だけではなく、平成 28 年度には高校生や青年団体との意見交換も行いました。また、今回の議員報酬及び議員定数の検討でも青年団体等の現役世代と意見交換を行い、議論を進めています。幅広く市民意見を聴取することは重要であることから、今後も広聴活動に注力していきます。